

第

12

回

特集

101年

いま新たな出会い

東 | 京 | 玉 | 翠 | 会

とき

平成6年7月9日(土)
午後5時～7時30分

ところ

東京プリンスホテル
鳳凰の間

12miles SUNNY

LIFE TOGETHER
NISSAN
人間のやさしさをクルマに。

いっぱい走ろう。➡12マイル・サニー誕生



いつまでも乗っていたい、走る喜び、広さ、乗り心地。クラスレス・パッケージセダン。

新型サニー登場

走ること、遠くへ行くこと、たくさんの道と出会うこと。クルマがくれる最大の喜び、走り、その喜びを、いっぱいくれるサニーです。

走る喜びに、クラスはないんだ。12マイル・サニーの設計は、「クラスレス」という新しい思想から生まれました。サイズを容れ、自由に居住空間を広くする

- ①いっぱい走れる、燃費です。遠くへ行きたいから、走る喜びをたくさんあげたいから。
- ②いっぱい走れる、広さです。家族が、ゆったり走りを楽しめる、余裕の居住空間です。
- ③いっぱい走れる、乗り心地です。走っても走ってもくつろげる、高級車の快適さ。

➡ロングホイールベース。高級車の乗り心地を実現した、マルチリンクビームサスペンション(リヤ)。すべては、新型サニーの設計思想「クラスレス・パッケージ」から。12マイル・サニーで走れば、どの1マイルも、「いっぱい走る」ことのうれしさに満ちています。

※(2WD車に設定) PHOTO: サニー1500スーパーサルーン(サウンドパッケージはメーカーオプション)ボディカラー: ライトブルーインジニッシュパールM(1:BN3) ●エンジン型式: GA15DE ●総排気量: 1497cc ●最高出力105PS/6000rpm(ネット値) ●最大トルク: 13.8kgm/4000rpm ●全長×全幅×全高: 4250×1690×1385(mm) ●OD付4速オートマチック(ロックアップ付) (主要装備) ●オゾンセーフエアコン ●4本スポークスタアリング ●リヤウインドスクリーン ●フロントパワーステアリング ●運転席シートリフター ●電動格納式ドアミラー(カラー付) ●無段階調整式ウォッシャー・電動開けっぴらいパー ●1ランクスルー ●165SR13ラジアルタイヤ ●13インチフルホイールカバー
お求めはお近くのサニー販売会社へ、お問い合わせ。ご相談は最寄りのサニー販売会社又は下記のお客様相談室までお気軽にどうぞ。日産自動車お客様相談室 全国共通・フリーダイヤル0120-315-232 サニーのカタログをご希望の方は、住所・氏名・年齢・職業・電話番号・お持ちの車を上記の上、ハガキにてご請求ください。〒272-01 千葉県市川市行徳郵便局私書箱118号 日産自動車カタログセンターサニー係

スピードおさえて、いい運転。シートベルトをしめましょう。

目次

式次第	2
平成5年度収支計算書(監査報告)	3
ごあいさつ	
玉翠会会長	大西 潤甫 4
高松高等学校校長	松橋 伏秋 5
東京玉翠会会長	宮井仁之助 6
初代会長平井健吉氏のご逝去を悼む	宮井仁之助 7
特集① 談話とインタビュー	
インタビュー:「杉原幸子様と語る」	杉原 幸子 8
談話:校歌の作曲者について	菊村 紀彦 13
特集② 随筆・母校の思い出・私の近況	
梶原大先輩のご遺族を尋ねて	藤井 勲 16
東京玉翠会総会の開催によせて	段 元培 20
三三会(昭和33年卒)の原動力	井上 榮 22
瀬戸大橋を走る	木村 斉 24
酒を呑むならウマイ酒	塩田 耕三 26
私の高高時代	濱田 希 28
特集③ 各地の玉翠会だより	
関西玉翠会	上枝 一成 30
岡山玉翠会	入船 健一 32
徳島玉翠会	松浦 健司 34
特集④ -WORK IN TOKYO- 東京・讃岐マップ	36
高松高等学校創立100周年記念式典に出席して	藤沢 雅人 40
第1回東京玉翠会ゴルフコンペ開催	久保 醇治 42
校歌・校友会の歌	44
東京玉翠会会則	48
東京玉翠会役員名簿	51
東京玉翠会高中部会・晩翠部会・高高幹事名簿	53
第12回東京玉翠会総会幹事を担当して	池上 晴英 64
寄贈図書目録	65
物品寄贈会社	66

式 次 第

一、開会の辞

一、東京玉翠会会長挨拶 宮井仁之助氏（昭和14年卒）

一、議事

1. 報告事項
 - (1) 会計報告
 - (2) 監査報告

一、来賓紹介

一、来賓挨拶

高松高等学校校長 松橋伏秋先生
玉翠会会長 大西潤甫氏（昭和17年卒）

一、乾 杯

香川県知事 平井城一氏（昭和15年卒）

一、懇親会次第

1. 高松高等学校100周年記念スライド上映
2. 抽選会等
3. 母校図書購入資金贈呈
4. 次回総会担当幹事紹介（昭和46年卒）
5. 校歌斉唱

一、閉会の辞

平成5年度収支計算書(案)

自 平成5年4月1日
至 平成6年3月31日

東京玉翠会
会長 宮井仁之助

〈特別会計〉

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
会場使用料	6,930,000	総会出席会費	6,496,000
会場運営費	1,200,000	男性 494人	
総会準備費	1,399,340	女性 283人	
母校寄付金	150,000	寄付金収入	902,000
プログラム制作費	1,549,000	雑収入	3,816,000
		一般会計より繰入	14,340
合 計	11,228,340	合 計	11,228,340

〈一般会計〉

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
支出交付金	269,900	前期繰越金	6,004,501
通信費雑費	104,685	年会費	662,000
事務用品費	2,000	預金利子	149,834
幹事会費	80,000	雑収入	22,600
次年度立替金	200,000	前年度立替金	200,000
特別会計へ繰出	14,340		
次期繰越金	6,368,010		
合 計	7,038,835	合 計	7,038,835

次期繰越金

内訳 (イ) 百十四銀行東京支店

普通預金	No.125044	1,526,523円
定期預金(通帳式定期)	満期H6.9.7	1,625,663円
定期預金(通帳式定期)	満期H6.2.4	1,136,728円
定期預金(通帳式定期)	満期H6.2.4	2,069,218円
(ロ) 手持現金		9,878円
合 計		6,368,010円

脚注 東京高中会並びに晩翠会東京支部よりの受入基金1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支決算書について監査の結果、適正なることを認める。
平成6年5月18日

幹事 鳥 羽 忠 臣 ㊟
同 内 田 信 子 ㊟
同 鴨 田 昭 代 ㊟



ごあいさつ

玉翠会 会長 大西 潤甫

本日、第12回東京玉翠会総会が開催されるに当たり、本会が年々盛大に行われますことをお慶び申し上げますと共に、心から敬意を表する次第であります。

私、前綾田会長ご退任のあと、会長の大役をお引受けして以来、会員皆様方の限らないご支援とご協力によりまして、昨年は母校の創立百周年のあの素晴らしい記念行事を無事終えることが出来まして大変嬉しく感謝致している次第であります。あの行事を今一度振りかえって見ます時、あれだけの行事を見事にやりとげた学校当局及び玉翠会の会員の皆様方の大きなパワーに今更ながら敬服すると共に、今後の会長としての責任の重さをひしひしと感じ、身がひきしまる思いであります。

承りますと、この東京玉翠会総会には関東地区に住んで居られる会員の方々の千名近くが出席される国内でも最大規模の同窓会とのことであり、本当に嬉しい限りであります。

今年は創立百一年という新しい歴史の始まりでもあり「101年 いま新たな出会い」というテーマで、恩師、旧友、先輩、後輩との交流の場を目指しておられるとお聞きしております。誠に素晴らしい企画であり心から敬意と拍手を送りたいと存じます。願わくばこの東京玉翠会が全国の同窓会の先頭に立って新しい歴史の創造に向けて力強い第一歩を踏み出されますよう心から念ずるものであります。

最後になりましたが、東京玉翠会の一層のご発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝を心からお祈り申し上げ私のご挨拶といたします。



ごあいさつ

香川県立高松高等学校 校長 松橋 愼秋^{としあき}

今年もまた校庭の大楠に淡い緑色の新芽が萌え出しました。かつて旧校舎の中庭で高高生の活動ぶりを見守り続けた大楠は、今すっかりとその容姿を変えて、旧正門近くに移植され、新たな枝葉を伸ばし、次なる世紀の年輪を刻み始めております。

東京玉翠会の皆様におかれましては、益々御健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

平素は何かと母校発展のため御高配を賜り、とりわけ昨年は創立百周年を祝う数々の記念行事が、玉翠会の皆様の御尽力によりまして盛大に執り行われましたことに対し厚くお礼を申し上げます。

本年春の人事異動により、杉岡保之前校長が御勇退され、私こと誠に微力ながら後任として着任いたしました。教職新採用から16年間にわたりお世話になった本校に、17年ぶりに再び勤務することになり感慨一入のものがああります。100年余りの長きに亘り、中等教育界の名門として幾多の優れた人材を輩出続けてきた本校で、学校運営の任に当たるその責任の重大さを痛感しているところであります。今後は諸賢の御理解、御支援のもと、高高の更なる飛躍のために全力を尽くす所存であります。

さて、母校では、全日制420名、定時制8名、通信制48名の新入生を迎え、生徒、教職員共に、授業、部活動等すべての活動において昨年度を上まわる実績を上げるべく、新たな決意を固めて新学年をスタートさせ、校内が活気に満ち溢れております。折しも本県の高校総合体育大会を目の前に控え、各部選手諸君は練習に余念がありません。昨年の県総体では、ハンドボール、ヨット、フェンシング、登山部が準優勝。特にヨット部は東四国国体少年男子スナイプ級で全国優勝を果たすなど、全校の士気大いにあがっておりますので、今年も好成績を期待しております。

母校は今、卒業生の思い出多い、歴史の重みを感じさせる古い建物は全く無くなり、校地の隅から隅まで装いを新たにしております。生徒たちもすっかり現在の校舎に慣れ、落ち着いて学習に取り組んでおりますが、生徒たちが卒業後やがて母校を振り返るとき、よみがえってくるものが単なる懐古だけでなく、この学び舎に自分が生きたと実感できるものを一人ひとりの中に育むこと、これが私どもに課せられた責務であると感じております。生徒各自の自覚と精進がそれぞれの人格形成を図っていくことは間違いないが、それが学校全体として大きな流れとなり、いわゆる高高の伝統をつくってきたものと思います。先輩諸兄弟の築かれた伝統の上に、より高く、より優れたものを積み上げるべく努力する逞しい生徒を育成するよう努めて参りたいと考えております。

終わりにになりましたが、東京玉翠会の益々の御隆盛と会員の皆様の御健勝、御活躍を心より祈念申し上げ、ごあいさつといたします。

ごあいさつ

東京玉翠会 会長 宮井仁之助

第12回東京玉翠会総会が今年も盛大に挙行されますことを、お互い心から歓迎したいと思います。

東京では全国の高等学校の同窓会が数多く開催されていますが、毎年千人近い同窓生の集まる会は見当りません。まさに日本一の在京同窓会と誇ってよいかと思えます。

その理由を考えてみますと、まず東京近辺在住の同窓生の多いこと、次に同窓生の母校や郷里に対する思いの強さが挙げられましょう。しかし同時に、総会運営のシステム、即ち毎年幹事学年が一年づつ繰下がるシステムによるところも大きいかと思えます。42～43歳の社会の中堅の方々が、生涯に一度の努めと知恵を傾け、ユニークな内容の会合を企画して会を盛り上げてくれるからです。当番幹事（本年は昭和45年卒）の方々のご努力に対し心から感謝申し上げます。

母校も昨年創立百周年を無事終了、第二世紀への新たな歩みを始めました。本年度の幹事の方々は、本総会のテーマを「101年、いま新たな出会い」と定め、同窓の世代を超えた交流と親睦の場作りを意図して総会の準備を進めてくれました。同じ学び舎を巣立った同窓生が一夕相集い交わりを温め、この総会をお互いの人生を豊かなものとする場にして下さればと念じてやみません。

おかげさまで東京玉翠会も統合されてから11年を経過し、基盤も確立してきました。ひとえに母校や玉翠会本部のご支援、歴代の会長、役員、幹事の方々のご努力に負うところが大きいものと感謝致します。それ以上に、多くの会員同窓生のご協力とご参加がなければ不可能なことであったと存じます。

その全ての方々にお礼を申し上げると共に、東京玉翠会に対し今後とものご支援をお願いし、併せて会員各位のご多幸とご健康を祈るものです。

初代会長 平井健吉氏のご逝去を悼む



東京玉翠会初代会長の平井健吉氏が平成5年9月11日ご逝去された。享年93才。

昨年6月には第二代会長の大島功氏を、また9月には平井さんと、尊敬すべき大先輩を同じ年に続けて失ったことは、東京玉翠会にとり大きな悲しみであり、損失であった。

平井さんは小豆島のご出身、高松中学を大正7年にご卒業、旧制六高から東大に進まれた後、戦前の日本勧業銀行にご入行、理事、常務取締役となられた。銀行を退かれた後は日本勧業証券株式会社（現、勧角証券）、日本塩回送株式会社のそれぞれ社長、会長を経られた県出身の実業界の大先輩であられた。また東京小豆島会会長、東京香川県人会副会長として、多くの郷里の後輩がお世話になった方でもある。

昭和58年、それまで東京で別々の同窓会組織であった高中会、晩翠会、高高会が統合されたとき、統合の推進者でもあられた高中会会長の松原寛氏がその前年よりご健康を害しておられたため、他にどなたか会長適任者を探さねばならぬ状況にあった。当時関西玉翠会の会長が関西電力の芦原義重氏であり、同氏と高中、六高と同級であった平井さんのような大先輩を、ということでご出馬をお願いしたところ「ある期間なら」ということで快くお引受けいただいた次第である。

当時既にご高齢でありながら至極お元気であられ、その上公正無私、ご判断も誠に的確であられた。統合当初の東京玉翠会の運営について大局的見地からご指導を賜ったことは、誠に幸いなことであった。

平井さんがその晩年、旧高松藩主松平家のためにつくされたお働きは特筆に値する。数年前亡くなられた御先代、松平頼明氏と平井さんの深い信頼関係は、側から見ても心打たれるものがあり、それも平井さんの誠実無比のお人柄によるものと拝察していた。

東京玉翠会の礎石を据えて下さった平井元会長のご霊前に心からの感謝を捧げ、ご冥福を祈るものである。

(宮井仁之助 記)

杉原幸子様と語る (平成6年春)



杉原幸子^{ゆき} (談) (昭和6年卒)

聞き手 小佐野 千重子
城井 真知子
陳 和 恵
(昭和45年度卒)

— 本日はご多忙中のところを、お時間をさいいただき誠にありがとうございます。

杉原様は、岩手県の御出身で、昭和6年に高松高等女学校を卒業され、第二次大戦中リトアニアの日本領事代理として勤務されたご主人（故 杉原千畝氏）と共に欧州で過ごされ、昭和22年に帰国されたそうですが、今日は、当時のお話や、女学校時代の思い出などをお聞かせ頂きたいと思います。

杉原： 私は、四国には親戚も何もないんですが、四国は懐かしいですね。この間久しぶりに学校に行ってきました。そしたら、変わってしまって。昔は女学校ですから、男の子がいるので驚きました。私たちの時は、授業が変わる度にカバン下げて、あっちのお教室、こっちのお教室と移動するんですね。

— 杉原様は旧姓菊池様で、昭和6年のご卒業でございますね。

杉原： はい、そうでございます。私は、文学少女で他の学科はたいしたことなかったですが、作文だけは、誉められました。父の書齋がありまして、いろんな本がありましたので、片っ端から読んでました。

— お父様は確か、志度商業学校の校長先生でいらっしゃいましたね。

杉原： はい。ですから女学校を受ける時も、「すべったりしたらみっともない。」って言われて、無理矢理勉強させられました。

— 当時スカートに一本線が入って「ワン」て言ってたそうですが。

杉原： そう「ワン」なんですよ。

小学校の時なんか憧れましたよ、あそこに入れるといいんだけど。

— 女学校の時から短歌をお作りになっていらしたのですか。

杉原： 本が好きですから、最初、小説家になろうなんて思ったんですが、良く考えたらそんな才能はないので諦めたんです。それで詩を作ったり、短歌を作ったんです。短歌は好きなので、ずっとやっております。本格的に勉強したのは帰国してからで、横浜に「アララギ」の地方誌があったのでそこに入りました。今は藤沢で月一回教えております。昔は学校を出たらすぐ結婚しなきゃならないみたいだったんですが、兄が東京の大学にいましたから、東京に行ったんです。そこで主人に出会いました。あの頃は女性っていうと低くみられましたが、主人はそうではなかったです。

— 結婚されてから、御主人様とヨーロッパに行かれたわけでございますね。

杉原： 主人と最初フィンランドに2年いました。そしたら突然リトアニアへ行って命令があったんです。リトアニアはその頃独立国でしたけれど、私も行くまでは名前も知らないような小さな国でした。1940年の7月のある日、突然領事館の前に、何百人もの大勢の人が現われ大変な騒ぎなんですよ。代表の方5人と主人が話をしましたら「ポーランドでは非常に大変な状態で、歩いているとナチスが来て連れて行って殺されてしまうかもしれない。日本を逃げてアメリカの方に逃げていきたいので、日本の通過ビザ（査証）を発給していただきたい。」って言うんですけど。その頃は日本はもうドイツと協定を結んでいましたから、大変難しいことなんですよ。時々窓から見てみますと、本当に皆さん疲れた表情をして、ポーランドから歩いてこられたんですよ。私たちの方を、祈るような、縋るような目をしてじっと見ているんですよ。その晩はほとんど眠らず主人と相談いたしました。

「ビザ交付の決断に迷ひ眠れざる
夫のベッドの軋むを聞けり
(杉原幸子著「六千人の命のビザ」より引用)

主人が、自分一人の考えじゃビザを出せないから、日本の外務省の方に電報を打ったんです。だめなんですよ。「ノー」なんですよ。でも、領事館の前の大勢の人たちは動かないんです。次の日も次の日も。ここでもうビザを貰えなかったら、自分たちは捕まって殺されるという時ですからね。本当に真剣な目をして、朝から晩までじっとこっちを見てるんです。私もその目を見ていると心が痛むんですよ。

本当にかわいそうで、で、とうとう主人と二人で決心しました。

「ビザを待つ人群中に父親の手を握る
幼な子はいたく顔汚れおり
（「六千人の命のビザ」より）」

—— ビザを発給するという事は、ドイツとの協定に背き、御家族の身が危険に晒されることになりませんでしたか。

杉原： 男の子が三人いまして、まだ小さくてかわいい盛りでしたから。子供の寝顔を見てると決心が鈍ったんですけれど…。やはり、大勢の何千という人の命が自分たちに預けられてるんだと思うと——決心しなければ——人間としてね、救わなければ、と思うようになりましてね。

でも、私たちが運が良ければ生き延びることができるかもしれないという一筋の願いがありましたから。まあ、賭のようなものでしたけれど。

—— 当時書かれた六千通を超えるビザのうちの一通が、イスラエルのホロコースト記念館で永久保存されることになったそうですね。

杉原： ビザを主人は朝から晩まで座り通して書きました。食事も取らないで、いつ強制的に退去させられるかわからなかったからです。7月31日から書き始めて、途中へとへとに疲れて倒れたんです。それで「もう、やめようか。」って私に言ったんですが、私のところからは、大勢の人たちがじっと見ている姿が見えるんですよ。その姿を見ていると、一人でも多く助けなければと思って、「もう一週間がんばりましょうよ。」って言って8月28日まで書いて、それで期限がきてしまいました。

カウナスの駅にも来てるんですよ。それで列車が動き出すまで、発車するまで書きました。もう最後の二枚は動いていても書いて窓から渡してました。

まだ大勢の人たちが後をついて走ってきましたけど、汽車が動いてだめでした。その時は悲しかったですね。「またお会いします。」ということを行いながら、後から追っ駆けてきて皆さん泣いてました。私も涙がこぼれてしまいました。

「走り出づる列車の窓に縋りくる
手に渡さる命のビザは
（「六千人の命のビザ」より）」

—— 疎開された時も、非常に危険なめにあわれたそうですが。

杉原： 私、フィンランドのシベリウスに戴いた写真とレコードを宝のようにして

たんですが、別荘に避難していた時、それを取りにブカレストの家に戻る途中で車が故障して、撤退してきたドイツ軍と森へ逃げ込んだんです。

バルチザンの攻撃に草むらに伏せてますと、何だか背中が重いんですよ。どうしたのかしらと思ったら、ドイツの将校が私の上で伏せて、私を庇ってくれてるんです。涙がでました。私、長くヨーロッパに住んでいても、ドイツ人ていうのは冷たいと思ってたんです。夜明けに近くなって、もうだめだと思った時、大きな音が「バーン」と耳元でして、気を失ったんです。気がつくとも、将校が横に倒れてるんですよ。触っても、もう動かない。本当にあの時は悲しかったです。若い将校でしたのに。それから必死で逃げて、農家に逃げ込んだんですが、中でバルチザンに取り囲まれて。日本人だと言っても、スパイだと思って信じてくれないんです。私、もうしょうがないと思って、「討てーっ」で言ったんです。そしたら、びっくりして銃を引いて、ドイツ語の分かる人を連れてきて、送ってくれたんです。

—— どこで命を落とされても仕方のないような状況でございますね。

杉原： 本当に命が幾つあっても足りないような思いをしてきましたけどね。私、くよくよしないんです。いろんな苦しいことがあります明るく暮らしていくのがいいんじゃないかと思っています。

母がそういう風でしたから、私、それを見てきてますから。

皆様、お母様が家庭というものを明るく心掛けなければね。

—— はい、本当にこれから家庭を明るくするよう心掛けていかなければと思います。現在、ご講演などで、特に力を注がれていらっしゃる事がおありですか。

杉原： 今の若い人は、戦争というものを知らないですよ。ですから、戦争というものがどんなに惨めで、人間を苦しめ悲しませるかということ。戦争というものを地球の上からなくすということを、みんなで考えていきたいと思うんです。

—— 次に杉原記念財団についてお伺いしたいのですが。

杉原： それは、各国との友好を深めて、できれば戦争をなくしたいということです。今はもう「なにじん」とか、そういうことは考える必要はないと思うんです。私は、ドイツ軍と一緒に逃げた時、ドイツ人と話しましたが一人一人はみな暖かいんですよ。それが戦争となると敵と味方になってしまいますからね。一人一人が愛を持って、世界というものをもう少し緊密な状態に持っていかないと、戦争というものが起こるんじゃないかと思うんですよ。大変難しいことではしょうけどね。

—— 具体的には、どのようなことをなさっているのでしょうか。

杉原： この間はリトアニアのバスケットチームを呼びました。選手たちも非常に喜んでくれました。今、リトアニアは日本の終戦の時と同じで、物が不足しています。本当に困っている状態なんです。長男や甥が援助に行ったりしております。

—— 最後に杉原様のご本のことを、お伺いしたいのですが。

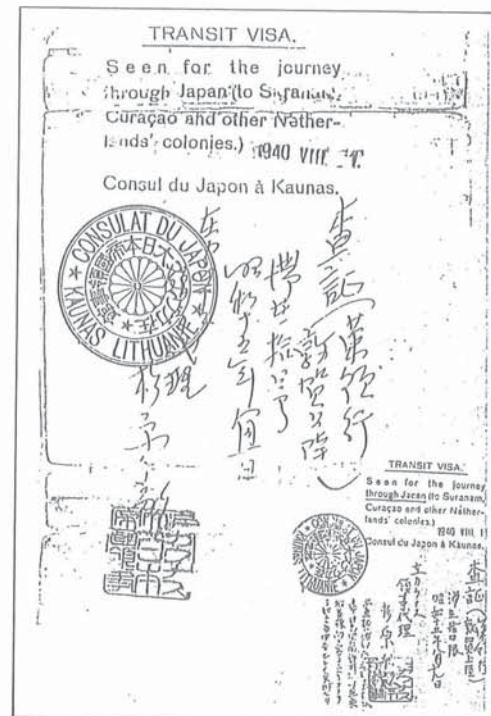
杉原： 「六千人の命のビザ」という本ですが、小説ではありません。事実を書いたものです。本の収益はいろんな国の援助に充てさせていただいております。

—— 帰国後外務省を去られてからも、お口に出せない思いがおありだったのではないかと思われます。

生前、千畝氏が「騒がれるようなことではない。人間としてあたりまえのことをしたまでのこと。外交官としては間違ったことだったかもしれないが、私の行為は歴史が審判してくれるだろう。」と語られたそうですね。

今日の幸子様のお話を伺って、戦後半世紀を経て、戦争体験が風化されようとしている現在において、改めて世界単位で平和というものを考えていかなければならないと思いました。本当に今日は、ありがとうございました。

これからの杉原様のご活躍を心よりお祈りいたしております。



談話とインタビュー

校歌（現、校友会の歌）の作曲者について

菊村 紀彦（談）

—— 菊村先生は、永年に亘り仏教学者として、又、音楽家としてご活躍でいらっしゃいますが、玉翠会会報を御覧になりまして、掲載されている校歌（昭和20年当時の校歌、現・校友会の歌）の作曲者の名前が違うことにお気づきになられたようですが、その事情を御存知でしたら、お教え願いますでしょうか。

御存知というよりも、その校歌作りに私も携わったわけなんですね。といいますが、こういうことです。詞は藤井静男という先生がお作りになりました。藤井先生は、オニさんというあだ名の国語漢文の有名な先生でしたね。詞は非常に格調に満ちております。

“朝日輝く屋島山 さざ波寄する玉藻浦”と歌われています。

ところが当時は作曲家がいらっしゃらないんですね。大正4年の事ですので約八十年前の話ですね。当時は、今で言うところと替え歌で皆さんが歌っておりました。なぜかと申しますと、日露戦争の「橘中佐」という有名な歌（この方は日露戦争で戦死されました）をそのまま替え歌にして歌っていた時期が何十年かあるわけです。

私は戦前に高松中学に入学したわけですが、私は東京に生まれまして、小学の時は東京と高松を往き来しておりましたが、高松中学に4年までいまして修了しましたので、卒業生ではありませんが、ただ私が戦後高松中学の音楽の教師を致しまして、その辺の事情をよく知ってるわけです。

昭和16年になりますと、新しい歌の運動が起こるんです。それと高松高等女学校から水上正広という非常に有名な先生で、当時はお若いのですが、翌17年4月に高中に校長として御赴任になるんです。私は当時すでに、音楽やら作曲をしております。



（1971年当時の菊村氏）

して、文学もやっておりましたが、そんなわけで大変可愛がってもらったわけでは、戦争中に私などは、非国民のように言われて、音楽をやる奴は軟弱だといわれた時代に水上校長先生は非常に御理解があって、音楽がお好きだったんだと思いますが、私に儀式とか祝日式典にピアノを弾いて歌を唄わせたり、朝礼など立ち台の高い所で指揮棒を振ったりさせられたわけです。

それで水上校長先生が校歌は橋中佐の歌だとおっしゃられて、私に作曲してみろとも言われたこともあるんですが、昭和18年にはもう私は東京に帰っていました。そこに水上校長先生がおいでになりまして校歌の事になり、私の恩師になるのが大中寅二先生であることから大中先生に作曲を頼む事になりました。非常に有名な「名も知らぬ遠き島より〜」という「椰子の実」の作曲をされた先生です。その作詩は島崎藤村氏ですね。この曲はラジオの国民歌謡という番組で大阪で作られたんです。大中先生は大阪出身で私の父と同じ北野高校を出ていらっしゃいます。先生はオルガニストでもあり、私に作曲とかオルガンを教えて下さっていましたので大中先生にお願いしたらどうかということになりました。

そしてこの校歌が完成したのが昭和18年の10月でございました。私は当時、東京で音楽を学びながら、実は仏教大学の学生だったのですが、水上校長先生と東京の新橋で待ち合わせ、次の虎の門の地下鉄駅を降りまして、霊南坂教会に案内しました。先生はその教会のオルガニストでもあったわけですね。先生が出来ましたということで楽譜を水上校長先生に渡して下さったのがこの曲です。余談ではありますが、当時百円というお礼をお渡ししたのですが、(当時の教員の初任給が50円でした。)大中先生は、アアと言った切り余り驚きもせず受け取られて、領収書を書かれたのを覚えております。間違いなく大中寅二先生の作曲です。

楽譜はおそらく焼きましたでしょう。当時は今の東京芸大学部長の原田茂生も一年生で在学していたので歌っておりました。この曲には大中先生以外に作れないメロディがあるんですね。それは先生はアクセントを逆にしないんです。関西は逆ですよ。ね。「朝日輝く屋島山〜」でも一つの言葉のアクセントと曲の中のアクセントがピッタリ合うのが、山田耕作の高弟の一人である大中先生の特徴です。大中先生のあの有名な「椰子の実」でも言葉と歌のアクセントが同じなんです。だから自然なんです。ただし一つ問題なのは、先生は関西のアクセントではないんですね。東京の標準語に順応して作られました。

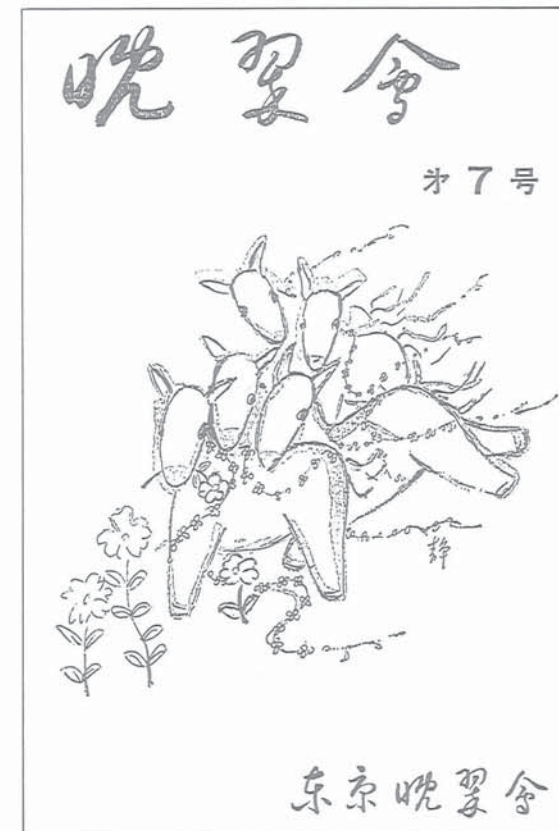
これが昭和18年に出来たわけですね。当時音楽の先生はいらっしゃらないので、私も、学生でありながら音楽を教えさせられました。終戦昭和20年4月に今度は私が母校高中の音楽の先生になりました。ところがその時に、荒井三郎という方が音楽の先生として赴任されたんです。私は一ヶ月だけ教べんを取って津田町の大川

女学校に赴任したのですがこの荒井先生が7月に兵隊に行き帰って見えないので水上先生から請われて再び二年間高松中学で教えたのです。

作曲者が何で荒井三郎の名前になったかは、合唱曲を作る時、この音を変えようと言って伴奏など変えたりしたらいいですね。荒井先生は師範科を出られたらしいですが、編曲されたら編曲者とはいえるかもしれませんが…。作曲者は大中寅二先生という第一級の先生です。今「椰子の実」の歌を知らない人はいないでしょう。

昔の事情は軍歌ばかり、ドイツのものはいいのですが、アメリカのものは御法度です。敵のジャズはいけないという時代でした。むしろ軍歌を唄うのが自然だったのを、水上校長先生は、校歌には特徴がなければいけないとおっしゃって、替え歌でなく、大中先生にお願いしたその橋渡しが私だったんです。

以上生存者の証明を申し上げます。



菊村先生の御母堂である県女卒の椎名静枝様
描写による東京晚翠会会誌の表紙

梶原大先輩のご遺族を尋ねて

藤井 勲 (昭和16年卒)

一昨年、母校では念願の野球部史を刊行した。そこには「童顔の天才選手」と題して梶原英夫氏のごことが大きく紹介されている。その最後には「昭和19年4月27日、秀子夫人と生後間もない一粒種の孝英を残して戦病死した。34歳。華やかな球歴も学歴も、個人を犠牲とする戦争の前には無力であった」とある。

昨年春、どういう訳か、母校野球部OBのW氏から「梶原大先輩のご遺族の消息をご存じなら教えて欲しい」というお手紙を受け取った。

何の手掛かりもないまま、私は手探りで、これに挑んだ。

ついで7月末には

1. 昭和9年のある新聞に掲載された「この父にこの子、帝大チームの至宝梶原英夫君」と題した橋戸頑鉄記名入りの記事のコピー
2. 昭和56年8月3日付けの週刊朝日のコピー
3. 大正の末ごろから昭和14年までの梶原さんゆかりの写真10数枚

が母校から送られて来た。

母校では、よくまあ60数年前の資料や写真を今まで大切に保存していたものだと驚き、かつ頭の下がる思いだった。

まず昭和9年の新聞に載った橋戸頑鉄氏の文は、「今春は7割2分2厘という、とてつもない前人未到の優秀な打撃率をあげて驚異驚嘆的になった」ことにより「今日の人・明日の人」欄に取り上げられたのである。

「『英雄に二代なし』というが、彼の父弥之助は一高守山時代の二塁手で、健棒の聞え高く、都下の球界を震撼させたものである。」(注 一高守山時代とは一高野球部全盛時代で、守山は投手守山恒太郎で、猛練習で知られ、一高校舎の煉瓦は彼の投球練習で穴があき、「守山先輩苦心の跡」と大書して長く記念されたという。)

「父弥之助は一瞬たりとも英夫の活



昭和14年 中国戦線の梶原英夫氏

躍を擬視することを忘れない。近頃は神宮のスタンドへ納まって『英夫シッカリしろ。おやじがみているぞ』とどなることがある。これ程兄を思う親は少ないだろう。」

「英夫は高松中学の投手として思い出深い甲子園で鳴らし、将来の嘱望を浴びて、さて『どこへ行こうか』と迷ったころ、父は『早稲田へ行け』といったが、友人連が承知しないので、一高の試験を受けさせた。その試験の補強をするため一人の大学生は自分の進級を棒にふり、付き切りになって鍛え上げ、目出度く合格させたという何とも涙ぐましい話がある。」(注 その大学生は秀子夫人によれば、小川誠四郎氏だったとのこと。)

橋戸氏の文は「聞く所によれば、かれは今春帝大チームの主将に選ばれたのであったが『俺の性格は主将に向かないから』と固く辞退し、栄冠を僚友池田芳蔵に譲るとやら。近ごろ奥床しい話題として球界のうわさに上っている」で終わっている。

ちなみに橋戸頑鉄氏は明治12年生れで昭和11年没。明治、大正期の野球選手で「万朝報」「大阪朝日」「東京日日」などの記者をつとめ、全国中等学校野球大会や都市対抗野球大会などの創設に尽力した。彼の功績を記念して昭和11年、都市対抗野球大会に「橋戸賞」が制定され、最高殊勲選手に与えられることになった。

次にこの週刊朝日だが、往年の有名野球選手で、戦争でなくなった方々のご遺族の消息について特集していた。そこには「古いアルバムに童顔残して、梶原英夫(高松中)」と題した記事があった。

「戦争で人生を寸断されてしまいましたからね。当時のことは忘却のかなたで」

千葉県誉田町。房総半島の小さな町に住む竹内秀子さんは、こういって梶原選手の思い出を語ってくれた。

「結婚生活といいますが、わずか4年間ですよ。最初の半年は無我夢中。次の半年からは私が肝臓を悪くしたり、梶原が病気になったりで、二人でしみりと暮らしたのは4カ月ぐらいなんですよ」

昭和15年の春に結婚。18年の夏に、一粒種の孝英さんが誕生。翌19年4月27日に、大阪陸軍病院で亡くなった。

「当時梶原は大阪勤務でしたので、甲子園ホテルで式を挙げたんですよ。内輪だけのささやかな結婚式でした。」

昭和20年の暮れ、「位牌と子供だけをつれて」西宮市から親類の住む千葉に移り住んだ。そして再婚。竹内と姓が変わった。そのご主人も孝英さんが小学校5年の時に亡くなり、現在はガソリンスタンドを営む孝英さん夫婦と暮らしている。

「今までは後ろなんか振りかえらなかつたのですが、このごろは一人古いアルバムなんか取り出してみたりもするんですよ。お友達はみなさん立派になられたのに、梶原だけ一人、童顔のままいつまでも残っている。太く短く、駆けぬけていくような人生でした。」

梶原英夫は、高松中、一高、東大とエリート・コースを上りながら、同時に野球でも青春を燃焼させた選手だ。

高松中のエースとして、甲子園へは第12回と第14回大会の2度出場した。なかでも、梶原投手の名を一躍有名にしたのは昭和3年の第14回大会だった。準決勝でぶつかった対

松本商業戦。0-3で迎えた6回表、雨で惜しくもコールド負けとなった。このときの涙の敗戦投手が梶原だった。翌年、一高に進学。当時は高松中の名投手が一高に合格したというので、「栄冠に舞う桜吹雪」と題して、少年雑誌に梶原物語が載ったという。

一高でも活躍。7年東大法学部に進学。舞台は神宮球場へ。ときまさに東京六大学の黄金時代。早稲田に三原脩、中島治康、慶応に水原茂、宮武三郎、法政に鶴岡一人、明治に岩本義行、立教に景浦将……。そして東大に梶原がいた。

投手で5番を打つかと思えば、次の試合では外野手で3番を打った。9年春のシーズンには、18打数13安打。打率7割2分2厘とバカ当り。春の首位打者に輝いた。もちろん六大学野球史上、前人未踏の高打率だ。

10年に卒業。住友金属に入社。しかし、秋には徴兵で近衛師団に配属。12年に応召、中国を転戦。14年に召集解除になったが、再び応召。間もなく病気になり、帰らぬ人となった。陸軍主計中尉だった。

「なんせ闘志マンだったね。股をひろげたかっこうでバットかかえてね。よく打ちましたよ」と話すのは三原・日本ハム球団社長。梶原選手とは高松中学の野球仲間。あの時代から早くも50年。三原さんはなんども「半世紀か」と繰り返しながら、なつかしそうだ。

私はこの週刊朝日を読んで、弾む思いでご遺族のお宅を電話帳で調べた。直ぐ電話してみると、応対されたのはお子さんの孝英さんだった。「母はJR千葉駅近くのマンションに行っていますので、直ぐ電話させます」とのこと。その後、秀子夫人とお話することができた。

その晩私は高松のW氏に報告、同氏が大変喜んで下さったことは言うまでもない。後でうかがったところでは大西玉翠会会長から早速ご丁寧なご挨拶状に添え、野球部史が贈呈されたそう。秀子夫人と孝英さんはこれにいたく感激、高高野球部のボール代の足しにでもと金一封を贈られ、部長の篠田先生からご丁寧な御礼状が届いたと伺い、私も心暖まる思いであった。

8月中旬、私は秀子夫人をお訪ねした。そのマンションは6階建ての大きなもので、千葉駅から歩いて5、6分の所にあった。

夫人は喜寿を迎えられたというのに大変若わかしく、ご健康そうであった。ご所有のマンションの管理のため毎日、菅田町から通っておられる由。

当日おうかがいしたことを以下敬称を略してご紹介する。

「英夫が高中にいる間は転勤しない」と言い続けていた父弥之助は英夫が卒業すると、栃木の裁判所に転勤、後に病を得て昭和14年、東京勤務、戦時中亡くなった。

母くにと妹高子は焼夷弾の被害をこうむり戦後間もなく死亡。姉の古田島博子は府中市に健在、85歳。弟勇雄は78歳。旧制水戸高校を経て北大卒業。長らく新居



秀子夫人（現在）

浜の住友化学に勤めていた。現在相模原市に健在。

秀子の兄鈴木正二三まさふみは梶原と一高の同期生で親友であった。東洋英和の女学校時代、兄が梶原を自宅に連れて来て「有名な高松中学の名投手だった梶原君だよ」と紹介してくれて初めて知り合った。

昭和19年4月、梶原が戦病死したとき、勤務先の住友金属は社葬に準ずる破格の葬儀を営んでくれた。

今年は英夫の50回忌に当たったので、勇雄と姉の息子と共に郷里姫路で、地元在住の従弟妹達も集まり、法要を営んだ。菩提寺（明光院）から梶原家に院殿号を贈られているので、集まった者一同、身の引き締まる思いがした。（院殿号とは広辞苑によれば「武家時代、将軍や大名の戒名で院号の下に殿の字を添えたもの。今も社会的地位の高い人などの戒名に用いる。」とある。）

孝英は理数科出身で、東証第一部上場の「オルガノ株式会社」に入社したが、今は自立してガソリンスタンドを営んでいる。孝英にはこの4月（平成6年）東京理科大学4年になった長男「和也」がいる。この息子は少年時代から大学三年の部活終了まで13年間を只野球一筋に熱中して来たが「血は争えない」と人は言っているとか。

野球部から送られた梶原家にまつわる10数枚の写真のうち秀子夫人の許にあったのは、昭和4年撮影の兄弟5人の分だけだったそうだ。

夫人は急に思い出したように「新婚旅行は高松へ行きましたよ。あちこち名所を見て回りました。『高中へ行って見ましょよ』と誘うと、梶原は『行きたいけれど、ちょっと恥ずかしいよ』とはにか？」



弟 勇雄 妹 高子 姉 博子 英夫 弟 剛郎

（昭和4年豊岡時代）



東京玉翠会総会の 開催によせて

段 元培 (昭和27年卒)

「光陰は百代の過客にして、行く年月もまた旅人なり」。人生は旅路であり、旅は路づれ世は情といわれるように、昔から日本では人間関係を非常に大事にして来ました。「以和為貴」という言葉も日本の方が大変好んで使われます。人間の「和」はまた、人間「輪」でもあります。村の鎮守様を中心に、村祭りを賑い、盆踊りを楽しみながら自然体の人間の輪が伝統として昔から今日まで続いて来ています。その人間の輪のおかげか、或は日本が単一民族のせいかな、よかれ悪しかれ日本人はいつも集団指向的だと言われています。明治維新までは「お家のため」、戦時中は「お国のため」、戦後は「会社のため」というようにいつの時代でも集団指向的でありました。そして、会社を中心とする人間の輪で、日本を経済的に成功させて来たのは御承知のところですが、しかし、会社のような利害関係を共にする人間の輪のほかに、人間関係を重視する非利害関係で結ぶ輪が最も基本的なものだと思います。その頂点に立つのが「以和為貴」の伝統として生きているのではないのでしょうか。この非利害関係で結ぶ人間の輪が、実に種々様々で無数に存在するのも、日本の特徴の一つであります。東京玉翠会、東京二七会のような、母校や同窓の関係で出来ている親睦組織が時折集まって、旧交を温めるなかで、互に歩んで来た道や人生の経験や教訓などを語り合うのを通じて、心を豊かにし、時には大事なヒントを得るメリットもあろうかと思われまします。このような人間の輪を維持して行くために、縁の下力持としてボランティアの地味な活動をされている方の貴さを改めて思い出させます。

同窓や母校を通じて結ぶ親睦組織は日本で無数に存在しますが、東京玉翠会や東京二七会のように活発に動く組織はあまり聞きません。それは高中・高高卒業生が如何に人間関係を大切に、人情味が豊かであるかを示しているのではないかと思います。そのためか、物心のつき始めた少年期を香川県で過ごした私が、香川県に対していつも郷愁めいた思いにかられるのも無理はないでしょう。

私が東京玉翠会や東京二七会の一員として受け入れられたのは、1986年になってからのことです。二七会の同窓と別れてから実に40年近くも経過していました。1986年当時、私が東京の中国大使館に勤務しており、東京にいる以上、いつかは何かの機会に昔の小僧共に会えるのではないかと密かに期待していました。ある日に東京二七会の加藤惇君、続いて久保醇治君が中国大使館を訪ねて来られました。本当に驚きました。そのいきさつを聞きますと、新聞を見て私の居所がわかったのだそうです。たまたま、中日

囲碁交流のパーティに私が中国大使館の代表として出席し、そこで呉清源氏らと歓談したことが日本の新聞に出たのがきっかけとなったとのこと。囲碁が日中友好の一役を荷っただけでなく、計らずも私が東京玉翠会、東京二七会の仲間入り出来たのは嬉しいことでした。

振り返るとまさに「未覚池塘春草夢」(池のほとりでまどろんだ春の夢、転じて少年時代の夢の楽しくはかないこと)、「階前梧葉已秋声」(庭先の桐葉はすでに秋の音を知らせている。転じて自分の人生もそろそろ終りを告げはじめている。)の思いでした。秋声の年になると一層高松や端岡への郷愁にかられ、かつてSL機関車から噴出する煤煙を浴びながら満員列車のデッキにぶら下がって高中に通学した、「国の再建我の双肩に掛かれり」と意気込んだ当時の少年、食糧難の時代に玄米パンや芋を自らの息子と私に半分づつ分けて食べさせて呉れたあの親切なお母さんたち、端岡の青い山、蛙の鳴く田園風景、そのほとりに流れるせせらぎ、私がよくドジョウを捕ったり、菱の実を取って楽しんだあの池……などが走馬燈のように私の脳裏に再現して、今にでも飛んで行きたい衝動にかられる日々が続きました。万難を排して私は旧地を訪れることになりました。久保醇治君が事前に連絡して呉れたおかげで、高松で大勢の学友に会えたのは本当に幸せでした。今でも一人一人の顔を思い出しながらお礼を言いたい気持です。

あらかじめ断っておきたいですが、人間が年をとると、愚痴をこぼしがちです。煎豆を噛んでも、昔の豆はこんなに硬いはずはなかった、などとこぼす老人もいるくらいです。私が端岡に帰省して少々失望したところもあります。経済成長とともに、日本列島がコンクリートでまぶしたかの印象は前から持っていましたが、私の住んだ徳清寺のある端岡も例外ではありませんでした。まずSL機関車が消えたことは仕方がないが、蛙の声もなく私がドジョウや菱の実をとって遊んだあの緑に囲まれた池は何と殺風景で、ただの水溜りに様変わりしたのは実に残念でした。日本が飽食の時代になるために払われた代償でしょうか。

今や日本は、情報化、ソフト化へと産業構造の転換期にあり、やがてはあの讃岐平野の田園風景が再現するのではないかと期待をこめています。折りしも瀬戸大橋の工事中でした。瀬戸大橋の開通とともに、人間の輪を大切にする香川人によって、香川、四国が隆盛発展することを願って止みません。

東京玉翠会には、20代から90代の方が集まって居られると思いますが、これから人生のスタートをする若い方、それぞれの分野で活躍する方には栄あれ、東京二七会の方はいよいよ還暦を迎え、第二の人生をまず何よりもご健康でありますように祈念致します。今まで仕事に追われ、マイペースで生活をしたことのない方もいるかと思えます。これからは時間的余裕が出来ますので、自らの趣味を生かし、新たな分野で活躍出来ますよう、マイペースで設計しては如何でしょうか。共に激励しあいたいところです。

私が東京玉翠会総会に出席出来ないのは残念ですが、総会のご成功を心より祈っております。

(元中国大使館駐日参事官・現中国国際交流協会理事)

随 筆



三三會（昭和33年卒）の 原動力

井上 榮（昭和33年卒）

私たち昭和33年（1958）卒の同窓会報“さんさん”は、今年第10号を発行しました。今回は東京玉翠会幹事会の皆様のご理解の下に、総会プログラムにこの会報を同封していただく機会に恵まれました。そして多くの玉翠会員の方にご覧いただくことを、大変うれしく光栄に思います。

振り返ってみますと昭和57年6月26日（土）は、第8回目でしかも東京高高会としては最後の総会が、ホテルオークラ「曙の間」で行なわれていました。（翌年からは東京玉翠会として発足）当番幹事を務めた三三会の仲間は83名。成功裏に総会の幕は閉じたのでした。

二次会は場所を移し、いよいよ盛り上がりました。出席者の皆んなから総会の感想や反省をはじめ、初参加の友からは家族のこと、仕事のこと等を聞くうち、福江幹雄君から「我々三三会の会報を年1回のペースで発行したらど～やろか」という提案がなされました。付和雷同とはこのことを言うのでしょうか。アッという間に事が決まってしまいました。しかしそれからが大変で、創刊号が発行される迄に実に1年半、昭和59年1月20日がその記念すべき日になったのです。

あれから丸11年（途中1回休刊）、第10号。いろいろなことがありました。原稿依頼のむづかしさ、資金面での諸問題、編集から発行に至る迄のプロセスの中で皆んな手弁当で頑張りました。平成元年は原稿が集まらず、休刊の止むなきに至りました。資金面の調達に夏の玉翠会総会後の二次会、暮の三三会忘年会で、オークションをしたり、出席者に会報購読料と称してカンパを受けたりしながら何とか続けてこられました。しかしこうした出席者だけにたよる方法では自ずから限界があります。かくして第8号（平成4年）を出す時には、その資金も底をつき、存続か廃刊かの重大な局面に立つことになりました。

私たちは真剣に話し合いました。その結果会員全員にアンケートを出し、「改めて皆んなの意見を聞こう」ということになりアンケートづくりがなされたのです。会報の存廃を中心に年会費の額や支払方法に至るまで多岐にわたりました。

回収が終わったところでその内容をまとめました。発送数120通、返事がいただ

けた数、71通、約60%の回収でした。私たちはこの結果を「よし」として集計し回答状況をまとめました。是とする意見はともかく、非とする意見の中にはかなりきびしいものもありましたが、全体の71%、3人に2人の人達は、励ましと共に「継続させて下さい」という内容でした。

私たちはそうした仲間の気持を大切に、又老後を心豊かに送る為にも、もう一度初心に返って挑戦しようということになったのです。

結果報告と同時に年会費の振込用紙を発送しました。年会費はアンケートの結果より算出し3年間で10,000円と決めました。驚くなかれ平成6年5月現在では、その後の増加分も含め139人の有志から振込まれて来ました。当初こんなに多くの賛同が得られるとは想像していなかっただけに、戸惑いと同時に感謝の気持が私達の胸をよぎりました。それだけに責任の重さも痛感するのです。

東京近郊の同窓生だけで始まった会報は、今や全国に散らばっている友をも含め、より広範囲になってきました。地元高松での卒業30年同窓会、卒業年度にちなんだ33周年記念会、35周年にあたる昨年の創立100周年記念同窓会、あるいは大阪での同窓会に東京より大勢出席し、お互いに交流を深めた結果が三三会のさらなる飛躍に繋がってきたのだと思います。幸にもその中核になって呉れる仲間がたくさんいます。そうした善意をおもんばかり乍ら、これからも末永く続いていくことでしょう。

それにしても福江君が言ったひと言が、三三会の団結をこれ程生む結果になろうとは、当時想像した人は少なかったかも知れません。今ではゴルフ同好会も26回を数えました。又友人の死を契機に会員本人のみではあるけれど（東京の会員）慶弔規程も設けました。サミュエル・ウルマンの「青春」をさらに続けたいものです。三三会万歳!!



瀬戸大橋を走る

木村 斉 (昭和35年卒)

私は少年時代から橋が大好きだった。小川があると、自分で小さな木の橋をかけてその上を渡ってよく遊んだ。橋の欄干の上をバランスを取りながら、歩き渡るといふ危険なことをやってのけて周囲の人々をハラハラさせたこともある。祖谷のかずら橋では、誰もがかずにしがみついてこわごわ渡るのに、私だけ何も持たずに走り渡って何往復もしたものだからみんなが仰天していた。そんなに橋が大好きだった男だから、屋島近くの海辺で育った私は対岸の岡山方面を眺めながら、瀬戸内海をまたぐ橋がかかったら、走って渡りたいなあなどと、可能性のない夢など追っていたものだ。

私の目の黒いうちに、それが実現するなどとも思ってもみなかったが、日本が世界に誇る架橋技術がそれをあっという間に実現してしまった。完成した瀬戸大橋を目のあたりにして、その偉容に圧倒されたものだ。料金は高かったが、自家用車で家族ドライブした時は、橋の美しさとスケールの大きさに感激し、家族中のみんなが「すごい、すごい」を連発した。

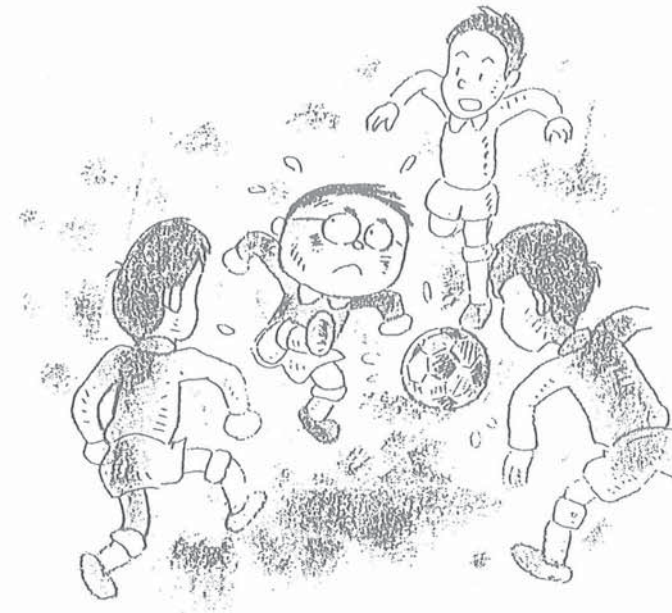
一度でいいからこの橋を自分の足で走ってみたいという夢は思いのほか早く実現した。「瀬戸大橋開通5周年記念健康マラソン」が企画され、それに私の教え子が勝手に申し込んでおいてくれたのだった。「先生、走ろう走ろう」と誘った彼は結局サッカー仲間と飲み明かし、二日酔いの為、走るどころではなく半日中寝込んでいるという位で終わった。結局私は仲間も無く一人で走る羽目に陥ってしまった。

平成5年4月11日、念願の大橋の上を自分の足で走った。それは非常に大きな喜びであり感激であった。大勢の参加者の人いきれの中、12キロを懸命に走り続けた。余りハッスルしすぎて走ったので橋の半ばで左足がつり始めたのには閉口したが、とにかく完走した喜びで一杯だった。

眼下に瀬戸内海を見降して、春風を切りながら橋を走ることなんて信じられもしなかった。私の心は少年時代の夢が実現したことで胸一杯の歓喜に満ち溢れていた。

しかし、その喜びの一方で、瀬戸大橋ができて、大変便利になったものの、宇高連絡船のデッキで潮風に吹かれながら食った讃岐うどんのうまさや、のどかな旅情を失ってしまったことが残念といえば言えないこともない今日この頃でもある。

(現職 香川県立志度高等学校定時制教頭)





酒を呑むならウマイ酒

塩田 耕三（昭和45年卒）

『全国銘酒（吟醸酒）一覧表——1992年度版——酒を呑むならウマイ酒』というリーフレットを自費出版してしまった。この表は、日本酒の奥の深さを心ある方々に広く知ってもらおうという趣旨で作ったものである。この表が、社内外の日本酒をこよなく愛する方々の目に止まり、新聞、雑誌、社内報、機関誌等に投稿依頼をされたり、講演依頼を受けるまでになった。日本酒の権威ある伝統技術に関わる多くの諸先輩を差し置いて、若輩者なりの日本酒への思い入れを紹介されてもっている。

建設会社の技術研究所に籍を置き、土に関する研究に携わったかわら、全国の地酒を呑む機会に恵まれ、その地元ごとに素晴らしい酒のあることを知った。また、東京では日本各地の銘酒を、手頃な値段で比べて呑むこともできる。しかし、その素晴らしさを認識して呑んでいる人は余り多くないようである。

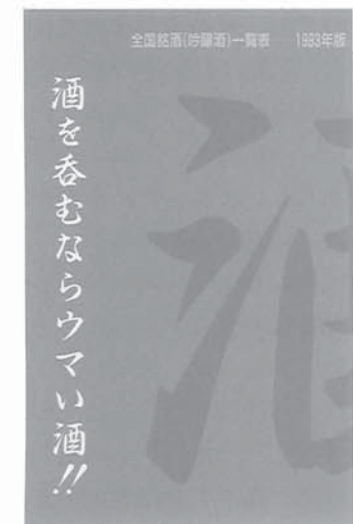
日本酒には、銘柄だけでなく、製法の違いにより一升あたり千円前後から数万円まである。この違いを、議論することなく、一般の消費者は銘柄ごとのあいまいな酒の違いを甘辛度で表現するにとどまっている。このギャップは、消費者に非があるのではなく、正確な情報と現物が不足していることによるようである。同じ酒蔵から数種類から十数種類もの製品を出しており、その味はそれぞれ異なる。すなわち蔵の主要銘柄名だけでなく、製法、貯蔵、容器、熱処理、出荷時季・形態、流通経路、保存方法などはいかに及ばず、呑む時の温度、容器、肴、雰囲気、連れあい等にも配慮してこそ、本当にウマイ酒となる。それに加え、酒造りに関わった杜氏と蔵人の心を思い、食卓にまで運んでくれた関係者の心遣いを汲みながら呑んでこそ、その微妙な味が楽しめる。

また日本酒にかかわる文学的表現なども捜してみると結構おもしろい。酒の功罪を以下に並べてみる。

酒の功罪——アチコチで拾った言葉

- | | | |
|---|----|---|
| 「礼を正し 勞を癒し 憂を忘れ 鬱を開き 氣を廻らし 病を避け 毒を解し 人と親しみ 縁を結び 人壽を延ぶ」
<small>飲酒の十徳：『百家説林』柳沢濟園</small> | —— | 「人 酒を飲んで 三十六失を犯す」
<small>孔子</small> |
| 「酒者 天之美禄 百薬之長」
<small>『食貨志』</small> | —— | 「百薬の長といえど よろずの病は 酒よりこそ起れ」
<small>『後然草』兼好法師</small> |
| 「酒 少飲すれば 則ち血を和し 氣を行し 寒を禦す」
<small>『本草綱目』李時珍</small> | —— | 「多く飲めば 人を害すること 酒に過ぎたるはなし」
<small>『養生訓』貝原益軒</small> |
| 「天地既に酒を愛す 酒を愛するは天に愧じず」
<small>天地既愛酒 愛酒不愧天 『古文真宝』李太白「独酌」</small> | —— | 「人酒を飲み 酒人を飲み 酒酒を飲む」
<small>『修訓集』</small> |
| 「酒という 文字を見てさえ 嬉しきに 呑めといふ人 神か仏か」
<small>土井晩翠 狂歌</small> | —— | 「バックスは 軍神マースより 多くの人を殺す」
<small>諸 西歌</small> |

取りとめもなく筆を運んだが、日本の気候と風土が産んだ伝統技術に裏打ちされた酒、ひとつとして同じ物のない酒、それが日本酒なのである。人間一人ひとり違う顔を持つように、ウマイと感じる酒も違うはずである。ウマイ酒、自分自身に合う酒を捜す楽しみはすべての人に同じように用意されている。生涯に呑める量に限りがある以上、こだわって、自分に合う酒を捜し続けたいものである。





私の高高時代

濱田 希 (平成4年卒)

涙が出るほど愛しい、そんな形容が最もふさわしい時間。それが私の高校時代である。今でも時々、無性に戻りたくて、切なくて眠れなくなる夜がある。それほど、私の高校時代は満ち足りていた。

一年の春、初めての数学小テストで、私は七点を取った。百点満点中の、七点である。初めて味わう挫折であった。得意の管の英語も、とんと伸び悩んだ。この頃から、私の両頬のニキビは増え始めた。私の中で、劣等感がめばえ、それはやがて焦りとなって私を追いつめた。そしてある日、私は考えた。「高々では勉強では一番には成れん。生徒会長になろう。」と。単純な計算である。丁度、私の心強い仲間たちも皆、何か一緒に取り組める『熱いもの』を求めている。気持ちばかりが先行したものの、実際私達は、高々の過渡期を肌で感じていた。「何か、しなければ」と燃えていた。入学した年の夏、保健室のあった鉄筋校舎が取り壊された。二年の秋の文化祭は、当時の校舎で行われる最後の文化祭になると聞かされた。私達は、自分達の手で、現校舎最後の文化祭をやりたい、と皆で思った。八十二代生徒会の大仕事を、私達は自分達の為に務めた。自分自身のために。自分の存在価値が見え始め、自分自身について深く考えたのも、この頃である。時間も場所も、充分にあった。私は、濱田希が、大勢の高々生の中の単なる一人ではなく、らしさをもった濱田希で在りたいと思った。そのために、腹に力を入れて、私は両足を踏んばって立っていた。理想と現実とのギャップに悩むとき、私には信頼できる、共に語り合える、共に笑い合える仲間が沢山いた。いてくれた。今も思う。八十二代の生徒会長は、本部役員の全員であった、と。様々な面で未熟ではあったが、私達はいつも必ず、前向きであった。提案が却下されても、何か問題が起こっても、常に「必ず何とかなる」と持前の明るさは失わなかった。皆の笑顔に私はいつも助けられていた。

「強くなりたい」と切望したのもあの頃だった。文化祭も終わり、やがて半世紀もの間、高々生を抱きかかえ、守ってくれていた校舎が崩されていくのを目の当たりにして、心が震えた。『ちゃんと見ないかん。ちゃんと覚えとかないかん』と込み上げてくるものをこらえて、その光景を見つめていたことを思い出す。楠が泣いて

いるようだった。

二年の終わり頃から今の校舎に移って授業を受けるようになったが、私が高校時代を振り返るとき出てくる風景はすべて、驚張りのあの校舎である。なまじ新校舎での生活も体験したために、その違いが際立ってしまったのかも知れない。

私は先日、二十一歳になった。その私が言うのも何だか滑稽だが、高校生というのは、何とパワーのある生きものなのだろう。今思えば、私のあの頃のあの元気は、どこから生まれていたのかと、不思議になる。そしてまた、羨ましくもある。やりたいことを「やりたい。」と言い、とことん悩んで、泣いて、笑って、すべてが全力投球であった。今になって、私は過去の自分に教えられることが多々ある。当時の日記には、こう書いてある。「自分を好きになってあげなかったら、自分を信じてあげなかったら、誰が自分を守ってくれるのか。自分のために、いつも笑顔で頑張ろうよ、希。」

人の為と書いて偽りと読む。誰かのため、ではなく自分自身のために、私自身の高校生活を充実させようとしたあの時の私は、きっとどんな高校生よりも素晴らしく幸せな三年間を過ごした。それは、高々という引力に魅き寄せられて、同じ学舎を母校と呼べる仲間と出逢えたからに他ならない。

思わず涙が出てしまうほどに愛しい、これが私が過ごした県立高松高校での三年間である。

(慶応義塾大学総合政策学部3年)



玉翠会京阪神支部（関西玉翠会）の歩み

関西玉翠会事務局長 上枝 一成（昭和38年卒）

第12回東京玉翠会総会が開催されるにあたり、心よりお慶び申し上げます。

昨年は母校創立百周年を記念して、地元高松において盛大に記念行事が行なわれましたが、京阪神支部においても、幹事役の昭和37年卒の諸先輩（代表福家克彦氏）の御尽力で、360名余りの記録的参加者を得て、総会が昨年10月に開かれました。その総会において、平成6年4月より、「関西玉翠会」とする旨が承認されました。そこで、ここに至るまでの歩みを御紹介し、諸先輩の御尽力に心より謝意を表したいと思っております。

昭和34、35年頃より関西電力・芦原義重社長と辰巳商会・太田誠三郎会長を中心に有志の集まりがもたれていましたが、昭和38年高松高校70周年事業に際し玉翠会本部から依頼があり、これを受けて第一回京阪神支部の公式な集まりがもたれた。それは前記両先輩が中心となり、京阪神地区在住の玉翠会メンバーに呼びかけがなされ、大阪心斎橋の「東天閣」で開かれた。以後毎年50名前後が集まり、支部の会長・芦原先輩のもと東天閣で会合がもたれた。昭和52年頃に高中部会の方から「そろそろ高部会の方で事務局をするように」と依頼があり、榎野密雄先輩を事務局長に高高32年卒のメンバーの方々に5年間事務局を受けもたれた。その後総会事務局の「卒業年次持ちまわり制」という案が浮上し、昭和57年総会事務局を昭和26年卒（高高第2回卒）のメンバーの方々が担当し、以後今日まで「卒業年次持ちまわり制」が続いている。会場は参加者が多くなり、ホテルを利用するようになった。尚90周年は昭和27年卒の方々が担当した。又晩翠会の方々が参加されるようになったのは昭和55年からです。（晩翠会は毎年6月に総会を持たれています。）

以上、玉翠会京阪神支部の歩みについては、初代事務局長・佐野泰正先輩（高中昭和12年卒）と二代目事務局長・榎野密雄先輩（高高32年卒）にお聞きしました。

さて、関西玉翠会年次幹事会がこの3月に持たれ、新会則にのっとり、会長に芦原義重氏（大正7年卒・関西電力）、副会長に大野担氏（昭和13年卒・ホテルプラ

ザ会長）、藤井義弘氏（昭和18年卒・日立造船社長）、島田清隆氏（昭和26年卒・東リ社長）、馬場幾与子氏（昭和8年卒）を推薦することとし、又、平成6年度関西玉翠会事務局は昭和38年卒の私達が担うことになり、16年間の長きにわたり玉翠会京阪神支部事務局長を担っていただいた榎野先輩より、私が事務局長をバトンタッチしました。現在、関西玉翠会第一回総会（11月27日）開催に向け、諸先輩の御苦勞を追体験しつつ、準備委員会会長・岡部敦弘君のもと私達高高三八会関西支部のメンバーで頑張っています。総会テーマは「101年目からの新たな出発」と題して企画中です。奇しくも東京玉翠会の総会テーマと軌を一にしており、ますます連帯・連携を深めていけるものと嬉しく思っております。

最後になりましたが、東京玉翠会の会員の皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

追記

関西玉翠会 第一回総会

場所：大阪ターミナルホテル（JR「アクティ大阪」内）

日時：平成6年11月27日（日） 11：30～14：00



高高三八会・関西支部
（平成5年度総会后）

各地の玉翠会だより



会員の理解を求めて

岡山玉翠会幹事事務局 入船 健一（昭和28年卒）

岡山玉翠会は、今年で発足16年になります。創立の母体は香川県人会です。昭和52年頃、当時岡山に在住していた高々二八会の統嘉明君の呼びかけで旧高中、第53回（昭和22年）卒業の植田敬、桑井正雄、田中俊次、高橋正巳、十川省治の各先輩。旧県女、晩翠部会からは昭和13年卒業の上原小菊（旧姓福田）、昭和17年卒業の篠原たえこ（旧姓田中）そして高々からは昭和26年卒業（二六会）の藤井康宏、山下孝代（旧姓永井）、岡田伊津（旧姓三谷）、横江悦子（旧姓溝渕）、三宅貴子（旧姓中村）の各先輩、昭和28年卒業からは吉田昭信、守屋総一郎君らが相談して、東京、京阪神支部に続き岡山にも同窓会を結成しようと準備にとりかかりました。母校の同窓会担当の松野先生のご指導をいただきながら会員名簿を作成して何度か発起人会を開き、また県人会の出席者にも呼びかけ、一年余りの準備を経て昭和54年11月25日に岡山グランドホテルで設立総会を開催いたしました。席上初代会長には、昭和6年卒業で旭川児童院顧問をしていた篠原清彦、副会長には上田俊彦、上原小菊の各先輩を選出しました。続いて行われた祝賀パーティは盛大を極め、在学時代から郷土の話題まで閉会の時間になっても多勢の人が残り閉会できなかったことを覚えています。

第二代会長は昭和56年に藤井康宏先輩が就任しました。岡大医学部第二外科出身で当時、岡山協立病院の院長でした。病院勤務に励みながら岡山玉翠会の発展のために努力されました。役員会、各種会合には万障繰り合せてよく出席され、総会には大阪、高松からも参加するようになりました。

現在の辻孝夫会長は、昭和30年卒業で岡大医学部第一内科教室の第九代教授です。厚生省の難治性肝炎の研究専門委員など多くの公職をもっていますが、郷土香川のために少しでもお役にたてばと、会長をお引受け願っています。役員会、総会などに出席を予定していても厚生省などへの出張も多く、欠席されることがあり本人は誠に残念がっています。

岡山玉翠会には二つの特色があります。そのひとつは創立時から高中、県女、高々が一体になった会、すなわち岡山玉翠会として統合されていることです。

もうひとつは、篠原初代会長の提唱により、会則にある精神的、文化的生活の向上と会員相互の親睦をはかるために会報の発行を続けていることです。「岡山玉翠会だより」と名付けて年2回発行し現在第27号です。可能な限り継続してゆきたいと考えています。

香川と岡山は瀬戸大橋の開通で陸続きになり通勤も可能になりました。従って会員にも変化が見られますが、今後も地域の状況に即応した会の運営に努力したいと思います。

最後になりましたが、母校のますますのご発展と東京玉翠会のご発展と会員の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

(第27号) 岡山ぎよくすい会だより 平成6年2月15日発行(1)



発行責任者：辻 孝夫

編集責任者：入船健一

題字：稲田玉艸



平成5年度岡山玉翠会総会 平成5年10月16日 於 岡山プラザホテル

各地の玉翠会だより



徳島玉翠会の誕生

徳島玉翠会 会長 松浦 健司

平成5年5月15日、徳島玉翠会が誕生しました。

玉翠会報第14号に「懐妊」から「出生」までのいきさつを書きましたので、お読みになった方はすでにご承知かと思いますが、簡単に紹介させていただきます。

昭和44年卒業で現在徳島県議会議員の長尾哲見氏が「今年、母校では高松高校（高中、県女）創立百周年の記念行事が盛大に行われる。徳島は隣県、卒業生はかなりいるはず。この機会にその組織化を図りたい」と、同級の渡部荘三氏はじめ何人かの知己に呼び掛け、調べてみました。その結果、大正12年卒業の大先輩で県農協中央会長を長年努められ、現在も「徳島の文化を進める会」会長など多方面にわたって活躍されている井口貞夫氏（現・徳島玉翠会名誉会長）を筆頭に、県内各界で活躍している卒業生がおよそ400人もいることが分かりました。

そこで、名簿を頼りに案内状を差し上げ、ロコミでも伝えてもらった結果、40余人の出席を得て徳島玉翠会を発足させることができました。母校から杉岡校長先生（当時）も駆けつけて下さり、参加者一同「来年は、より盛大な総会を持ちたい」と誓い合ったものでした。

その来年があつという間にやってきて、さる5月21日、徳島駅前の阿波観光ホテルに、高松高校長にご就任間もない松橋校長先生らお三方、岡山玉翠会の入船事務局長さんの来賓ご出席を仰ぎ、会員40余人が集って第2回総会を楽しく開きました。

今年の総会の『目玉』は、県知事ご夫妻の出席。「これからも、高高卒業生が徳島をリードする要職にどんどん進出してほしいものです」とのご祝辞をいただいた後、出席者一同と歓談する和やかな会場となりました。という、いかにも徳島玉翠会の顔が利くようですが、種明かしをしますと、知事・圓藤寿穂氏、とよ子夫人ともに高松高校昭和37年卒業のわが会員なのです。運輸省審議官だった寿穂氏は昨秋の知事選挙でご尊父、圓藤眞一氏（元香川大学学長）の出身地徳島から出馬、快勝していま県政に新風を吹き込んでいるところです。

ほかにも、徳島大学、徳島文理、四国両大学、大塚製薬、ジャストシステムなど

で要職に就かれています方がたくさんいらっしゃいます。いずれも徳島の産・学・官をリードし、推進する大きな力になっています。

まだやっおよちよち歩きを始めたばかりの徳島玉翠会ですが、このように多士済済の会員ぞろいです。近い将来、東京、関西、岡山各玉翠会にも認めていただけるようなユニークな活動ができるのでないか、いや、しなければならぬと考えているところです。

どうか、よろしくご指導下さい。



♪ 世紀新たな陽に映えて……



なごやかな歓談風景

第2回徳島玉翠会総会（於 阿波観光ホテル：H6. 5. 21）

経営者欄は経営者またはその配偶者の氏名です。

料 理 ・ 飲 食						
店 名	内 容	T E L	住 所	経 営 者	卒 業	
茶寮 遊 仙	和風料理	03-3262-5219	千代田区五番町7-2 日本棋院会館内	中 尾 秀 子	昭15	
太郎坊本店	日本料理・ふぐ・割烹	03-3561-3456	中央区銀座3-8-8 銀座松屋三本裏スジ	渋谷 清 子	昭20	
なかやま	割烹	03-3426-6830	新宿区住吉町5-9	中 山 誠 二	昭27	
ちよだ	割烹	0423-75-9653	多摩市永山駅前	塩 田 俊 治	昭32	
やまだ	日本料理	03-3221-0505	千代田区麴町1-8 A T I ビル	山 田 勲	昭32	
やま喜	瀬戸内の魚料理	03-3583-9836	港区赤坂3-12-3	石 原 誠 次		
讃岐茶屋	和食と手打うどん	03-3542-0861	中央区銀座4-9-5 銀昭ビル	入 谷 幹 郎	昭26	
弥三郎	手打うどん	03-3971-8133	豊島区西池袋1-13-7 新宿店(3268-6439)神田店(3264-8360)	中 尾 秀 子	昭15	
八十八茶屋	うどんすき	0422-20-2588	武蔵野市吉祥寺本町2-2-15	岡 野 博 通	昭27	
さぬきうどん高松	さぬきうどん	03-3406-0865	渋谷区渋谷3-7-7 渋谷警察裏	藤 村 節 子	昭37	
さぬき屋	手打うどん	045-934-1813 千丸台店	横浜市緑区鴨居492 JR横浜線鴨居駅前 045-381-3277 成瀬店0427-27-0184	三 嶋 満 代	昭38	
おりづる	さぬきうどん及びそば	0422-22-7928	吉祥寺南町1-1-24 ロンロン(駅ビル)地下1階	大 林 美 佐 江	昭26	
金比羅	手打うどん	03-3432-1047	港区浜松町2-1-1	安 藤 裕 通		
鳥 仲	やきとり屋	03-3661-8748	中央区日本橋茅場町3-2-3	中 野 京 子	昭38	
ステーキハウス そよかぜ	ステーキハウス	03-3343-0029	新宿区西新宿1-21-1 明宝ビル地下1F	三 好 純 一 郎	昭44	
パークバスタ	パスタとオープン料理	03-3776-5596	大田区山王2-2-14	大 橋 圭 見	昭61	
アイビー	スナック	03-3983-2720	豊島区東池袋1-22-5 サンケエビル	渡 辺 浩	昭31	
キララ(昼の部)	喫茶・パブ	03-3571-1059	中央区銀座7-3-13	鈴 木 新 子	昭28	
サロン・ド・ギャラリー・ココ・モンド	ギャラリー・ティールーム	0425-77-5790	国分寺市光町1-42-8	瀬 尾 洋 子	昭42	

フ ァ ッ シ ョ ン						
店 名	内 容	T E L	住 所	経 営 者	卒 業	
スナガ時計宝飾店	時計・貴金属	03-3323-5295	杉並区和泉2-33-19	須 永 玲 子	昭37	
ママ・ロッシュ	婦人服	03-3404-9774	港区西麻布1-8-10	中 村 芳 枝	昭13	
クチュール・ブーケ	ブティック	03-3470-1677	渋谷区神宮前3-7-2 小平店 0423-42-2433	田 中 千 種	昭30	
カニワトーキョ	ハンドバッグ・貴金属	03-3401-4509	港区赤坂9-6-27 カーム乃木坂1F	岩 井 耀 子	昭42	

病 院					
医 院 名	内 容	T E L	住 所	経 営 者	卒 業
宮本歯科医院	歯科	03-3294-6265	千代田区内神田1-5-8 奈澤ビル4F	宮 本 博 光	昭27
オガワ歯科医院	歯科	044-955-0558	川崎市多摩区西生田3-7-22 小田急読売ランド駅前	小 川 淳	昭29
小佐野歯科医院	歯科	045-934-3003	横浜市緑区中山町68-1	小佐野 千重子	昭45
さがら矯正小児歯科	矯正歯科・小児歯科	0466-33-7101	藤沢市辻堂1648-6 国信ビル2F	相 良 直 子	昭47
たけなが小児歯科	小児歯科	0427-71-1200	相模原市橋本3-29-14	竹 永 企 美 子	昭43
雨宮歯科医院	歯科	0425-84-3741	日野市日野本町2-20-13	雨 宮 高 志	昭42
河崎歯科医院	歯科	03-3754-8211	大田区久が原4-18-6	河 崎 浩 文	昭27
中廣デンタルクリニック	歯科	03-3591-5822	有楽町駅前晴海通り 常磐ビル	中 廣 哲 也	昭46
山田矯正歯科クリニック	矯正歯科	03-3464-1166	渋谷区道玄坂 井門ビル	山 田 勲	昭32
北村歯科	歯科	03-3703-0808	世田谷区深沢3-3-13	北 村 昌 敬	昭49
吉本歯科医院	歯科	043-292-6480	千葉市緑区おゆみ野4-41-8	吉 本 彰 宏	昭53
吉川整形外科病院	整形外科	0286-61-1611	宇都宮市和泉ヶ丘1-15-21	吉 川 定 雄 吉 川 和 子	昭22 昭31
坂戸眼科医院	眼科	0492-83-4303	坂戸市関間1-1-13	塩 田 孝	昭41
かまたクリニック	小児科・皮膚科・内科	0471-59-6151	流山市南流山3-16-1	鎌 田 恵 子	昭41
耳鼻咽喉科 はしもとクリニック	耳鼻咽喉科	0466-22-3887	藤沢市南藤沢20-20-401	橋 本 幸 久	昭42
川原医院	外科	048-685-5525	大宮市堀崎町1163-1	川 原 一 仍	昭34
玉木医院	医院	03-3990-3977	練馬区春日町5-6-14	玉 木 敬 三	昭20
しのはら医院	内科・小児科	043-422-5519	千葉市若葉区若松町488-2	篠 原 桂 三 郎	昭16
菊池眼科医院	眼科	0426-43-0325	八王子市市安町1-34-12	菊 池 洋 子	昭35

法 律 事 務 所					
事 務 所 名	内 容	T E L	住 所	経 営 者	卒 業
足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所	弁護士	03-5473-3970	港区西新橋3-24-10 ハリファックス御成門ビル3F	宮 武 敏 夫	昭31
濱田法律事務所	弁護士	03-3221-6261	千代田区平河町1-8-2-604	濱 田 清	昭32
浅井洋法律事務所	弁護士	03-3546-1390	中央区銀座7-14-15 SKビル5F	浅 井 洋	昭35
岡崎・大橋・前田法律事務所	弁護士	03-3252-6866	千代田区神田淡路町1-9-402	岡 崎 洋	昭37
河野法律事務所	弁護士	03-3582-0621	港区赤坂1-3-5 赤坂アビタシオンビル8F	河 野 悦 子	昭43
植松法律事務所	弁護士	03-3508-8973	港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平会館ビル8F	植 松 守 雄	昭14
藤井法律事務所	弁護士	03-3431-2267	港区新橋4-31-7 中村ビル3F	藤 井 富 弘	昭26

法 律 事 務 所					
事 務 所 名	内 容	T E L	住 所	経 営 者	卒 業
梶谷総合法律事務所	弁護士	03-3212-1451	千代田区丸の内2-4-1 丸ビル672区	岡 正 昌	昭49
赤澤・榎本法律事務所	弁護士	03-3211-4839	千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング5F 543区	赤 澤 俊 一	昭16
大西昭一郎法律事務所	弁護士	03-3212-0841	千代田区丸の内3-1-1 国際ビル 727区	大 西 昭一郎	昭33
西川紀男法律事務所	弁護士	03-3587-1841	港区赤坂3-2-6 パコダビルディング6F	西 川 紀 男	昭34
山本法律事務所	弁護士	03-3834-7021	台東区上野3-13-9 珠和ビル3F	山 本 隆 夫	昭38
小倉・田中法律事務所	弁護士	03-3355-2268	新宿区四谷2-2 四谷フジビル3F	小 倉 良 弘	昭39

税務・会計・特許・司法書士・不動産鑑定・測量・設計					
事 業 所 名	内 容	T E L	住 所	経 営 者	卒 業
前田会計事務所	税務・会計・経営	03-3265-9471	千代田区九段北4-1-5-807	前 田 勇	昭38
大東公認会計士事務所	公認会計士	0429-28-3002	所沢市山口5063-1-48-4-201	大 東 安都子	昭47
丸西税理士事務所	税理士	03-5699-3111	葛飾区金町6-12-13-304	丸 西 和 幸	昭43
大谷勉税理士事務所	税理士	03-5450-3753	世田谷区経堂4-39-10-301	大 谷 勉	昭26
岡田輝彦公認会計士・ 税理士事務所	税務・会計	03-3263-0856	千代田区麹町1-3	岡 田 輝 彦	昭14
税理士山口修事務所	税務・会計	03-3903-4111	北区赤羽1-37-13 城北ハイッ	山 口 修	昭33
近藤和彦会計事務所	税務・会計	03-3835-0025	台東区上野5-15-12	近 藤 和 彦	昭30
山本亮一特許事務所	特許・審判	03-3270-0858	中央区日本橋本町4-4-11	山 本 亮 一	昭 7
和泉司法書士事務所	司法書士	045-242-9499	横浜市中区花咲町1-46-1 GSプラザ桜木町1104	和 泉 正 俊	昭41
松尾和代事務所	司法書士・行政書士	0463-22-3355	平塚市明石町13-25	松 尾 和 代	昭42
三田総合事務所	司法書士	03-5484-0272	港区芝5-30-1-407	松 井 名保美	昭49
太田公証役場	公証人	0276-45-8469	太田市飯田町1245-1	松 尾 英 夫	昭26
香西不動産鑑定所	不動産鑑定	03-3976-2107	板橋区成増1-26-5 富建ビル601	香 西 勲	昭33
株式会社技術開発	測量・測量ソフト開発	0423-73-1292	多摩市落合1-16-16 加藤ビル3F	高 城 雄 三	昭45
日新技術株式会社	土木設計	03-3371-5991	新宿区西新宿7-17-6 第3和幸ビル3F	恵比須 忠	昭42
株式会社木村俊彦 構造設計事務所	建築構造設計	03-3490-3116	品川区西五反田7-24-4 KUビル7F	木 村 俊 彦	昭19
シバ設計	一級建築士	03-3476-4371	渋谷区道玄坂1-15-3-319	柴 原 力	昭34
株式会社KG総合計画研究所	建築設計事務所	03-3445-1768	港区高輪2-16-52 パラシオン高輪612	賀 家 淳 子	昭50

そ の 他 の 業 種					
事 業 所 名	内 容	T E L	住 所	経 営 者	卒 業
株式会社美巧社	印刷業	03-3813-8231	文京区小石川2-2-14	池 上 晴 英	昭45
株式会社三州社	印刷・出版	03-3433-1481	港区芝大門1-1-21	井 関 賢 次	昭29
井上美術印刷株式会社	印刷業	03-3819-0821	荒川区町屋1-4-9	井 上 榮	昭33
株式会社ローカルエネルギー 開発研究所	経営者向け成人病 対策セミナー、栄養指導	0425-76-9791	国立市西1-17-20	塚 磨 忠 嗣	昭32
名の光の家	ネーミング・ 四柱推命学研究	0473-53-5889	浦安市日の出6-G-803	辻 従美子	昭37
ホテル・コスモ横浜	ホテル	045-314-3111	横浜市西区北幸2-9-1	平 山 敦 子	昭47
創クリエーション	コンピュータソフト開発	0473-49-3073	松戸市新松戸3-309 ベルナーデ201	野 口 隆	昭51
パソコンショップぱんちゅ	コンピュータソフトウェア・ 周辺機器の輸入販売	03-3980-2180	豊島区南池袋1-17-1 崎本ビル6F	安 倍 明 子	昭58
ミュージック・オフィス・ ショウポート	ミュージカル・オペラ 出演 歌唱指導	045-902-4530	横浜市緑区あざみ野4-32-14	山 本 千 津	昭42
平川音響株式会社	映像音響機器・テレカ	03-3232-3001	新宿区大久保2-12-12 杉ハイム169	平 川 峰 子	昭42
株式会社ジェイ・コミュニケー ション	同時通訳・翻訳 国際会議運営	03-3435-7720	港区芝大門2-12-5-904	多 田 千 雪	昭42
リンクルインターナショナル 株式会社	モータースポーツショ ップ	03-3223-2226	世田谷区代田4-9-18	関 日出男	昭42
久保事務所	政治評論家	03-5411-2429	港区南青山2-2-15 ウィン青山1131	久 保 文 男	昭18
若松商事	商工経営・創業試運転 コンサルタント	0429-95-0454	所沢市久米513-13	若 松 昭 二	昭19
株式会社目耕堂	書店	0467-23-0331	鎌倉市小町2-10-1	末 澤 和 子	昭27
プレミアム	消費者動向調査	03-3318-7575	杉並区阿佐谷南1-6-13	中 川 明 子	昭49
カッミ堂写真機店	カメラ	03-3571-0468	中央区銀座5-9-1	藤 本 節 子	昭19
関口音楽教室	ピアノ	03-3993-1547	練馬区早宮3-52-2	関 口 玄 子	昭37
市原音楽教室	ピアノ	03-3867-9765	練馬区大泉町1-46-18	市 原 綾 子	昭37
光薬品株式会社	薬局	0471-73-0935	柏市光ヶ丘4-2-1	村 上 英 子	昭28
打越事務所	経営コンサルタント	03-3361-7510		打 越 祐	昭19
尚清進スクール	学習塾	03-3926-4678	練馬区中村北3-23-5 NGビル3F	神 部 順 子	昭61
ベアーズ英会話スクール	英会話・翻訳	0298-58-0208	つくば市並木3-11-8	奥 村 真 知	昭50
株式会社東京コスモ不動産	総合不動産業	03-3360-4321	新宿区西新宿8-14-17-1112	薦 田 快 公	昭29



母校の創立百周年 記念式典に出席して

藤沢 雅人（昭和45年卒）

母校、高松高校の創立百周年記念式典が昨年11月27日（土）、新装になった母校において盛大に開催されました。晩秋の暖かい薄曇りの当日、午前9時半頃正門受けに行くついでに大勢の来賓やOBであふれ、なつかしい友人や先輩、恩師との昔話の輪がそこここにできていました。

式典は午前10時から体育館に全在校生千四百余名、来賓、玉翠会員等、数百名、あわせて約二千名が出席して行われました。壇上には校長、玉翠会会長、県知事、生徒会会長などの方々が居並ぶなか、開式のことば、君が代斉唱に続き、杉岡校長が挨拶に立たれました。

杉岡校長にはかつて私自身、社会科の教えを受けておりその当時のことが、ギーギーと音のする真っ黒い廊下や中庭の大楠などともになつかしく思い出されました。式典はその後県教育委員長、県知事、大西玉翠会会長の挨拶と続き、最後に生徒会長が挨拶に立ちました。そして、ブラスバンド部の伴奏による校歌の大合唱で閉式となりました。

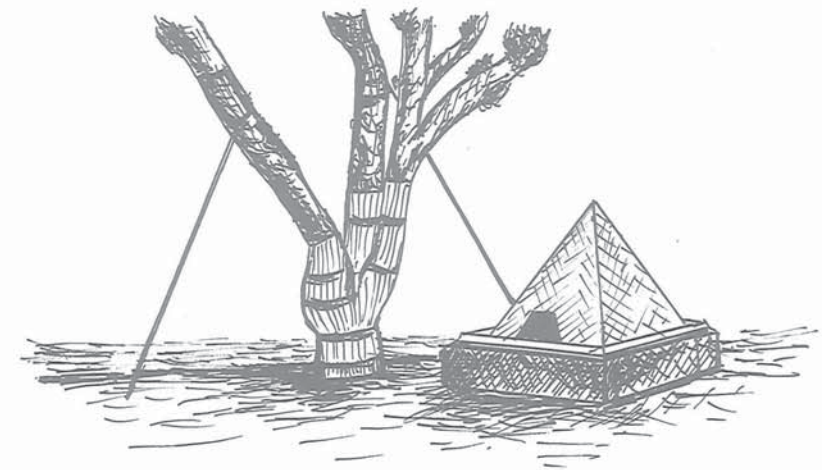
引続き体育館では母校の100年の歴史をふり返るスライドが上映されました。厳かな雰囲気にと終始した式典と違い、この時の会場は在校生諸君の喚声や笑い声で満ちあふれました。スクリーンに自分達の仲間や先生方の若い頃の姿が写った時の生徒達の反応はすさまじく、会場が大いに盛り上がったひとときでしたが、同時に明治中期からの1世紀の歴史の重みを実感させられたひとときでもありました。

体育館でのイベントが終わり早速1階の食堂に行き、用意されたうどんといなり寿司をいただきました。生徒達がまかないの手伝いをしていましたが、男子生徒がエプロン姿で立ち働くはほえましい光景でした。腹ごしらえができたところで、昔とは一変した校内を見て歩きました。校舎5階にはエレベーターで行ける玉翠会館があり、和室には茶道部によるお茶席も設けられていました。校舎北側のグラウンドは全面ゴムチップウレタン舗装され、200メートルトラックの内側には硬式テニスコート、バレーボールコートがあり、隣にある多目的コートでは様々な競技ができるようになっています。また、北東隅の旧正門付近はメモリアルゾーンとな

り、かつて中庭で威容を誇っていた大楠が移植されており楠の隣には百周年記念モニュメントが設置され、当日正午より除幕式が行われました。

こうして母校での全ての行事が終了し、午後2時からは場所を高松市立総合体育館に移し記念祝賀会が催されました。フロア及び2階観客席が各学年毎に分けられどの年次も20～30名ほどの玉翠会員が出席して、大社玉翠会副会長の開式のことばで会は始まりました。そして大西玉翠会会長の挨拶、杉岡校長、平井県知事の祝辞と続くなか、出席した玉翠会員達はそれぞれに旧交を温めていました。

母校の創立百周年という記念すべき節目に立ち会えたことを私は非常に幸運に思いますとともに、最後になりましたが、記念式典および記念祝賀会の開催に御尽力された杉岡校長、大西玉翠会会長はじめ関係者の方々に深く敬意を表する次第であります。



第一回東京玉翠会ゴルフコンペ

下秋間で先輩後輩が合同の交流

平成6年5月28日(土)、雨あがりの濃い緑に囲まれ東京玉翠会ゴルフコンペが、下秋間カントリー倶楽部(安中市)で9組36名の同窓生によって挙行された。

ペリア方式で優勝者は佐藤哲男氏(高高二七年卒、農林中金)、準優勝は苗字までニイの新居昌子さん(高高53年卒、アンゼーム、腕に覚えありで大阪から参加)であった。

中村文俊先輩(高中50回卒、極東産業)をはじめとする同窓生36名のうち33名は、大型クラブバスで新宿西口を午前6時40分に出発し、往路は、全員がゴルフ歴、家族、趣味などを自己紹介、帰りの車中では、表彰式と珍プレー、好プレーを披露しあって、卒業年次を越えて、大叩き、ミスショットを忘れて丸一日の感激と感動を共有しあった。この体験はそれぞれが永く記憶に止まるであろう。

車中の交流は、最高に盛り上がり、何処を通ったのか、関越の渋滞も気づかず、校歌を唄う間もなく、アッという間に新宿西口に帰着した。池上、射場、渡邊各氏をはじめ45年卒の皆さんに心からお礼を申しあげる。

東京玉翠会の有志によるコンペはこれまでもあったが、当番幹事の呼びかけは今回が初めてである。そのため、今回を第一回として次回につなぎたいとの意見が集中した。

東京玉翠会コンペ継続のために、次の諸点を検討材料として提起しておきたい。

1. 東京玉翠会長杯を浄財を募って作成し、優勝者が保管する。
2. 年度幹事を軸に、東京玉翠会のゴルフ愛好幹事とノウハウを有する前年度幹事の企画で会員に呼びかける。
3. 会場確保のため10組40名を上限とし、申込順に受付け、キャンセル待ちとする。
4. 東京玉翠会のゴルフ部門を常設する。

以上4点以外の意見も含め、第2回以降の先輩、後輩合同のゴルフ交流の定着のため、真摯なご検討をお願いする次第である。

(文責 高中58回・高高27年卒 久保醇治)



第1回 東京玉翠会ゴルフコンペ (於 下秋間CC: H6. 5. 28)

●ヤーテージ (ペント)

(ヤード表記)

HoleNo	Hole.H	Back.T	Regl.T	Par
1	9	568	539	5
2	3	232	185	3
3	1	466	402	4
4	7	389	328	4
5	15	196	161	3
6	13	383	344	4
7	5	406	384	4
8	17	530	507	5
9	1	466	418	4
OUT		3636	3268	36

HoleNo	Hole.H	Back.T	Regl.T	Par
10	10	437	357	4
11	18	351	324	4
12	4	350	295	4
13	2	453	411	4
14	14	163	135	3
15	8	413	387	4
16	6	632	528	5
17	12	160	125	3
18	16	606	532	5
I N		3565	3094	36
TOTAL		7201	6362	72

高松中学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(大正4年9月制定)

作詩 藤井 静夫  
作曲 安田 俊高

あーさひ かがやく やしまやま さざなみ  
よする たまもうら へーいわ みなぎる そのひび  
き せーいき あふる そのひかり わがまが  
びやにー みちみちて いそしむ けんじ  
1.2. 3.  
いっせんよ せひる がへせー

- 一、朝日輝く屋島山  
小波寄する玉藻浦  
平和漲る其の響  
生氣溢るゝ其の光  
我が学舎に充ち満ちて  
いそしむ健児一千餘
- 二、御稜威と共にいや高く  
朝夕あふぐ碑は  
日嗣の皇子の行啓の  
千代に朽ちせぬ記念なる  
奮闘努力の健男児  
ゆめな忘れそそのかみを
- 三、厳冬霜雪色かへぬ  
紫雲の松を名に負へる  
我が中学の健児等よ  
堅忍不撓功遂げて  
屋島山頭いや高く  
名誉の旗を翻へせ

# 高松高等女学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(大正3年9月14日制定)

作詩 小原 虎一
作曲 内藤 蝶

みれども あかぬ たまもの うらーち
ひろの そこーにしづーくなるーそ
のしら たまーの うるーはしきーき
よーき ころを みが かむ みが かむを
1.2.3. dim. 4. dim. rit. - - -
とーめ われーあ とーめ われー

- 一、みれども飽かぬ玉藻の浦
千尋の底にしづくなる
その白珠の麗はしき
清き心をみがかむ
みがかむをとめわれ
- 二、朝夕仰ぐ屋島の山
峰の上はるかにならび立つ
その山松の色かへぬ
高き操を守らむ
守らむをとめわれ
- 三、開くる御代の幸おほき
身にはつとめもさはなれば
うら若き日をたゆみなく
をみなの業を習はむ
習はむをとめわれ
- 四、いや栄えゆく皇国の、
生ける効ある御民ぞと
仁慈あまねき大君の
みこと畏み盡さむ
盡さむをとめわれ

高松高等学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(昭和26年12月17日制定)

作詞 河西 新太郎  
作曲 芥川 也寸志

con brio (♩=108)

せ い き - あ ら た な ひ に は え て      あ さ く も に お う  
 や し ま や ま      お う ま ゆ き よ き      わ こ う - と が  
 こ う が く の ね ん      ゆ る ぎ な く      は つ ら      つ      こ そ  
 1.2.      3.  
 る      い      き      を      み      よ      よ

- 一、世紀新たな陽に映えて  
朝雲匂う屋島山  
おお眉清き若人が  
向学の念揺ぎなく  
澁刺挙る意気を見よ
- 二、平和かがやく波よせて  
鏡と澄める玉藻浦  
おお純潔の若人が  
真理の道を究めゆく  
独立自主の熱意見よ
- 三、仰ぐ紫雲の松風に  
雪持笹のさみどりに  
おお希望わく若人が  
自由と愛の血に燃ゆる  
わが高高の自治を見よ

# 高松高等学校

## 朝日輝く (校友会の歌)

~~~~~\*~~~~~

作曲 荒井 三郎

あ さ ひ か が や く や し - ま や ま さ
 さ な み よ - す る た ま も う ら へ い わ み な
 ぎ る そ の - ひ び き せ い き あ ふ - る る そ
 の ひ か り わ が ま な び や に み ち み ち て い -
 そ し む け ん じ い っ せ ん よ

- 一、朝日輝く屋島山
さざ波寄する玉藻浦
平和みなぎるその響き
精気あふるるその光
我が学舎に満ち満ちて
いそむ健児一千余
- 二、厳冬霜雪色変えぬ
紫雲の松を名に負える
我が高高の健児らよ
堅忍不撓功遂げて
屋島山頭いや高く
名誉の旗をひるがえせ

東京玉翠会会則

第一章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は東京玉翠会という。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡、親睦を図るための会合、行事
- (2) 会報、会員名簿の発行
- (3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

(事 務 局)

第 4 条 本会の事務局を東京都内に置く。

(会則改正)

第 5 条 本会則の改正は幹事会の決議による。

第二章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校（以上五校を母校という）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下通常会員という）ならびに母校の旧職員（以下特別会員という）で東京都及びその周辺に在住する者をもって組織する。

(部会の設置)

第 7 条 1 第 3 条の事業を行うため母校別の部会を置くことができる。
2 部会の運営はその所属会員の協議による。

(会 費)

第 8 条 1 通常会員は年会費を納入しなければならない。

2 年会費の額は、毎年常任幹事会の決議によりこれを定める。

第三章 役 員

(役 員)

第 9 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 4 名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1 名
- (5) 幹 事 その員数は次条第 2 項の定めによる
- (6) 監 事 3 名

(役員を選出)

第 10 条 1 会長及び副会長並びに監事は総会において選出する。
2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各 1～2 名を選出する。
3 常任幹事は会員の中より会長が指名する。
4 常任幹事のうち 1 名を事務局長、1 名を会計担当として会長が指名する。

(任 期)

第 11 条 役員任期は 2 年とし重任を妨げない。但し補欠により就任した役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第 12 条 1 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは会長の職務を代行する。
3 常任幹事は常任幹事会を構成し重要な事項の審議、決定を行う。
4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。
5 監事は本会の会計を監査する。

第四章 会 議

(総 会)

第 13 条 1 総会は会長の招集により毎年 1 回開催する。

なお必要ある場合には臨時総会を開催することができる。

2 総会においては、次の行事を行う。

(1) 会務及び会計報告

(2) 会員の親睦を図る行事

(3) 本会の運営に必要な事項の決定

(幹事会・常任幹事会)

第 14 条 幹事会、常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

(議 長)

第 15 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議長は会長があたる。

(議 決)

第 16 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

第五章 会 計

(会 計)

第 17 条 本会の会計は年会費及び寄附金その他の収入による。

(会計年度)

第 18 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月末日に終る。

第六章 その 他

(顧 問)

第 19 条 1 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。

2 顧問は会議に出席し意見を述べるることができる。

附 則

第 1 条 本会則は昭和 58 年 6 月 25 日より施行する。

第12回東京玉翠会総会幹事を担当して

池上 晴英（昭和45年卒）

第12回総会の幹事を我々45年卒が担当することになり、この1年試行錯誤を重ねながら準備を行ってまいりましたが、やっと今日、総会当日を迎えることが出来、内心ホッとした気持で一杯です。1年前、我々が総会の幹事を担当するに当たってまず考えたことは、『一生にたった一度の役割なので、どうせなら24年前の学生時代に戻って、楽しく学園祭のノリでいろんなことを企画し、やってみよう』ということでした。「人の集まる総会に」、「集まった人が楽しめる総会に」、「参加して先輩後輩の輪が広がる総会に」等々、総会に対する方針が色々出てきました。その中で、実行のための案を検討したり、東京の讃岐マップを再調査したり、総会の参加者名簿を作成したり、名刺広告を企画したりと、30名余りの仲間達が一致団結して今日まで準備を進めてきました。当初は、全員初めての経験なので何かと戸惑っていましたが、作業が進むにつれて持ち前の“高高スピリッツ”が甦り、ここ2ヶ月程は、会社の仕事を後回しにして精力的に総会の準備に取り組みました。また、今回は総会以外のイベントとして、世代を越えた交流の場づくりの一つとして“東京玉翠会ゴルフコンペ”も企画してみました。この企画は、参加者の動員に苦勞しましたが、結果的には36名ものご参加をいただき、先輩・後輩の交流もでき、楽しい1日となりました。

繰り返しになりますが、我々45年卒はこの1年、学生時代に気持ちが戻り、42歳の年でもう一度、学園祭の楽しさを味わおうと、やれることは全部めいっぱいやってきました。最後まで、空中分解せずに総会を終えたいと思っています。

末筆になりましたが、多大なご協力とご指導をいただいた諸先輩及び後輩の方々、このような機会を与えてくださった東京玉翠会役員及び幹事の方々に、45年卒幹事一同、心よりお礼を申し上げます。また、地元の45年卒同期の皆様には多大な広告の協力をいただきありがとうございました。この会がこれからも長く続くことを願ってやみません。

寄贈図書目録

皆様に御協力いただきました母校図書購入資金で下記の図書が、特別コーナーを設けて揃えられています。今年もなにとぞ御協力をお願い致します。

| 年度 | 出版社 | 書名 | 巻数 |
|-----|--------|-----------------|-----|
| S59 | 講談社 | 現代総合科学教育大系 | 13 |
| 60 | ほるぷ出版 | 数学マイウエイ | 8 |
| 60 | ほるぷ出版 | 英文「日本大百科事典」 | 9 |
| 61 | 筑摩書房 | ちくま少年図書館 | 100 |
| 61 | 東大出版 | 講座「日本思想」 | 5 |
| 62 | 朝日新聞社 | 「世界の地理」及び別巻付録 | 12 |
| 62 | 河出書房 | 「文芸読本」「自然読本」 | 25 |
| 63 | みすず書房 | 神谷美恵子全集 | 13 |
| 63 | 集英社 | 梅原 猛全集 | 20 |
| 63 | 集英社 | 私の古典 | 22 |
| 63 | 集英社 | シートン動物記 | 9 |
| H元 | 筑摩書房 | 宮沢賢治全集 | 17 |
| 元 | 小川出版 | 世界各国史 | 17 |
| 元 | 清水書院 | 人と歴史シリーズ | 52 |
| 元 | NHK出版 | 驚異の小宇宙・人体 | 8 |
| 2 | 未来社 | 宮本常一集 | 43 |
| 2 | 平凡社 | 東洋文庫「日本の古典」 | 10 |
| 2 | 平凡社 | 東洋文庫「日本の風俗と社会」 | 13 |
| 3 | 平凡社 | 東洋文庫「アラビアン・ナイト」 | 17 |
| 3 | 平凡社 | 東洋文庫「智恵の七柱」 | 3 |
| 3 | 平凡社 | 世界の民族 | 20 |
| 4 | 平凡社 | 南方熊楠全集 | 12 |
| 4 | 角川書店 | 鑑賞日本古典文学 | 36 |
| 5 | 科学新興社 | モノグラフ数学 | 26 |
| 5 | 講談社 | 世界の大遺跡 | 13 |
| 5 | 河出書房新社 | 新文芸読本 | 13 |

皆様の御芳志にたいして、心から厚くお礼を申し上げます。

御芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、在校生・職員等の閲覧に供しておりますことを御報告いたします。

平成6年4月 高松高校図書館

祝

第12回東京玉翠会総会

~~~~~

### 第12回東京玉翠会に

### ご協力有難うございました

#### 物品等御寄贈戴いた方々

(50音順・敬称略)

綾菊酒造株式会社  
石丸製麺株式会社  
一刀彫工房 尾後英幸  
大塚製菓株式会社  
鐘紡株式会社  
川福食品株式会社  
キャノン販売株式会社  
讃岐益生窯  
讃岐食品株式会社  
さぬき麺業株式会社  
讃岐屋食品株式会社  
株式会社讃匠  
株式会社CSS技術開発  
株式会社資生堂  
株式会社宗家久つ和堂  
タケサン株式会社

有限会社田村くつわ堂本店  
ダイキン工業株式会社  
トッパン・ムーア株式会社  
西野金陵株式会社  
日本ハム株式会社  
ばいこう堂株式会社  
株式会社原田毛皮  
平川音響株式会社  
百十四銀行  
株式会社藤井製麺  
不二ラテックス株式会社  
平安閣(中華料理)  
株式会社ホテルニューオータニ  
丸紅食料株式会社  
三井不動産株式会社  
昭和37年卒業生一同(林康子オフィス)

Asahi  
アサヒビール

生ビール  
売上  
No.1

これが  
ビールだ。  
スーパードライ



うまさ  
洗練、  
辛口生

ビールは20歳になってから。あきかんは、リサイクルへ。

○自動販売機による酒類の販売は午後11時から午前5時まで停止されています。※1993年の日本での販売回数(大瓶換算回数)において、アサヒビールは生ビールの販売量No.1です。(当社調べ) **アサヒビール株式会社**



## 「幸せな食創り」をめざして…

「食」に対する欲求は、人間の欲求のなかでも、とりわけ根源的なものだといえます。

この欲求の進化に伴う食生活の見直しや本質の追求は、  
文化という形になって私たちの生活を潤いつづけてきました。

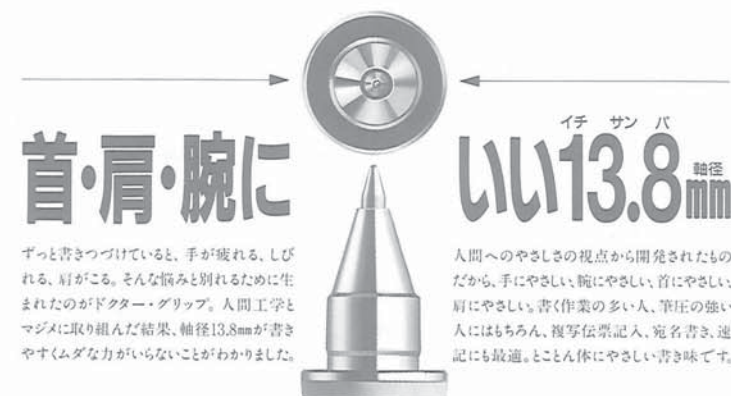
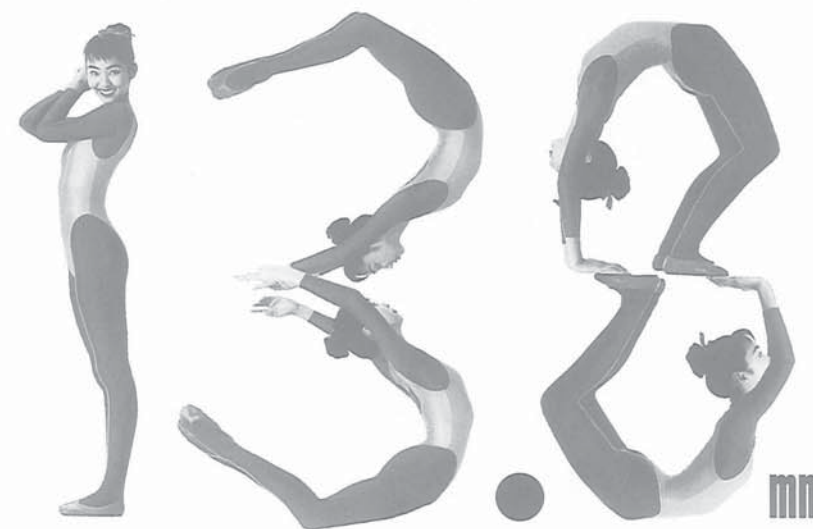
この食生活をあらゆる側面から応援し、幸せな生活づくりのお手伝いをする。

これが、日本ハムの提唱する、「幸せな食創り」です。



高級生活主義です。  
**PILOT**

やさしさ工学。



ずっと書きつづけていると、手が疲れる、しびれる、肩がこる。そんな悩みと別れるために生まれたのがドクター・グリップ。人間工学とマジメに取り組んだ結果、軸径13.8mmが書きやすくムダな力がいらぬことがわかりました。

人間へのやさしさの視点から開発されたものだから、手にやさしい、腕にやさしい、首にやさしい、肩にやさしい、書く作業の多い人、筆圧の強い人にはもちろん、複写伝票記入、宛名書き、速記にも最適。とことん体にやさしい書き味です。



写真は上から、ボールペンBDG-50R 500円/BDG-70R 700円 シャープペンシルHDG-70R 700円/HDG-50R 500円(価格に税別)  
ボディカラーはそれぞれに ブルー・ピンク・ホワイト・イエロー・グリーン・レッド・ダークブルーの7種類。

複数利払方式定期預金

# ねね定期

満期日の前にお利息を受け取れる定期預金です。

- お利息の受け取りサイクルが選べます。

## 1・2・3・6ヶ月

- お預入れ期間が選べます。

## 1・2・3・4年

- お利息を受け取っても元金そのまま

# 定期預金で運用

いい出会い ふくらむ未来  
**百十四銀行**

本店 高松市亀井町5番地の1

東京支店 中央区日本橋3-8-2      青山支店 港区北青山3-5-12  
 新宿支店 新宿区百人町2-1-2      新川支店 中央区新川2-13-9

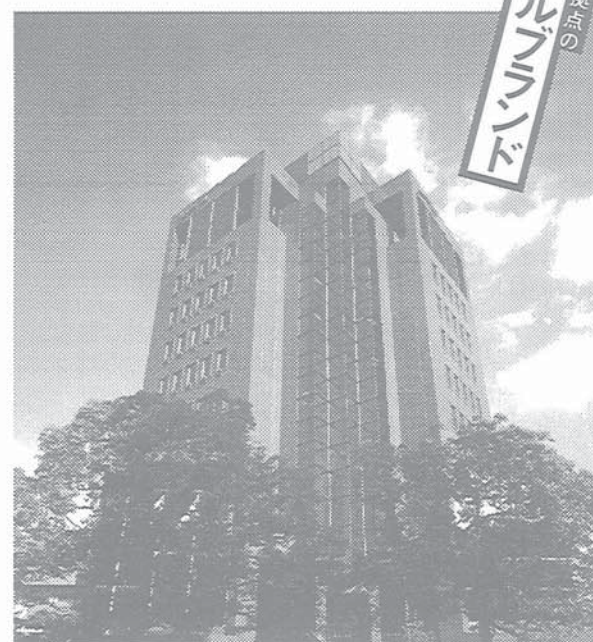
ANABUKI

こだわりが  
アナブキの  
基本です。

世界最大規模の  
全国26拠点の  
ナショナルブランド

いのちの器をつくる  
アナブキの街を創るテーマ

自社一貫体制のATDシステム  
0から100まで



穴吹工務店本社ビル

代表取締役社長

穴吹 英隆  
(高高45年卒)

取締役

竹内 良樹  
(高高45年卒)

- 岡田 芳樹 (高高44年卒)
- 森田 哲夫 (高高45年卒)
- 岩部 健 (高高45年卒)
- 中村 一夫 (高高45年卒)
- 大川 武克 (高高47年卒)
- 上枝 正人 (高高47年卒)
- 宮脇 嘉弘 (高高47年卒)
- 武井 茂樹 (高高48年卒)
- 谷本 幸三 (高高48年卒)
- 水野 康徳 (高高50年卒)
- 元二 俊朗 (高高50年卒)
- 岡 英二 (高高51年卒)
- 新田 守 (高高51年卒)
- 石渡 千広 (高高52年卒)
- 谷口 冬紀 (高高52年卒)
- 倉内 司郎 (高高58年卒)
- 辻 禎久 (高高58年卒)
- 日下 栄也 (高高平成1年卒)
- 奥山 敦史 (高高平成3年卒)

快適な暮らしを創る

**穴吹工務店**  
ANABUKI

希|転  
望|職

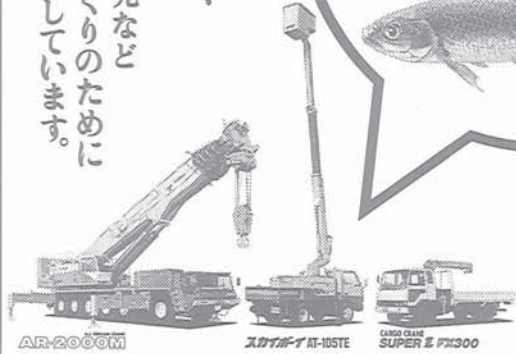
<設計・施工>建設大臣許可(特-3)第1478号 宅地建物取引業免許建設大臣(7)第1545号  
 (社)日本高層住宅協会会員 (社)日本リゾートクラブ協会会員  
 本 社：〒760 高松市藤原町1-11-22 TEL：(0878) 35-7111(代)  
 支 店：東京・横浜・大阪・岡山・広島・徳山・高松・松山・徳島・高知・福岡・熊本・大分・  
 鹿児島  
 営業所：新潟・大宮・松江・丸亀・新居浜・大洲・長崎・宮崎

募|人  
集|材

**TADANO**

ラブ。

たとえば、街の緑化、  
電話や電気、  
河川流域の総合開発など  
豊かな生活環境づくりのために  
タダノの製品は活躍しています。



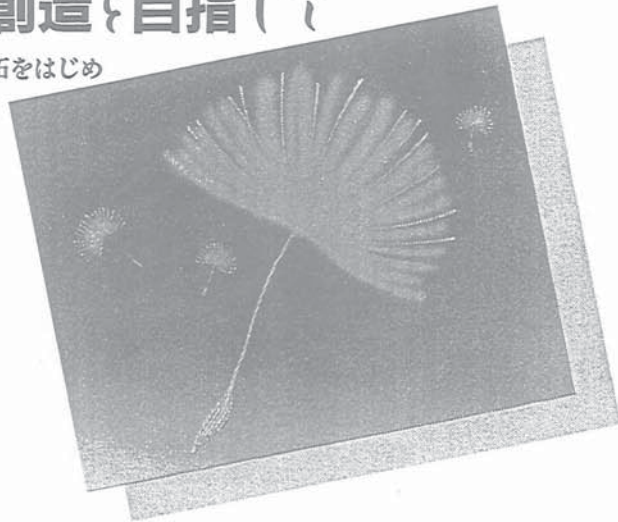
**株式会社 タダノ**

本社/香川県高松市新田町甲34番地  
TEL (0878) 39-5555 (代表)  
営業本部/東京都墨田区亀沢2丁目4番12号タノ/両国ビル  
TEL (03) 3621-7777 (代表)

**いま、新時代の創造を目指して**

私たち、日本セメントは新分野開拓をはじめ  
様々な分野での自主技術開発を  
推進しています。

- セメント
- 生コン
- 吹付けコンクリート用急結剤  
(アサノスーパーナトム)
- 建材・鉱産品
- 地盤改良材
- ファインセラミックス
- プラント・エンジニアリング事業
- 健康スポーツ事業
- 不動産事業
- 電子・計測計量機器
- 情報処理事業
- バイオ関連(ハイテク農業)事業



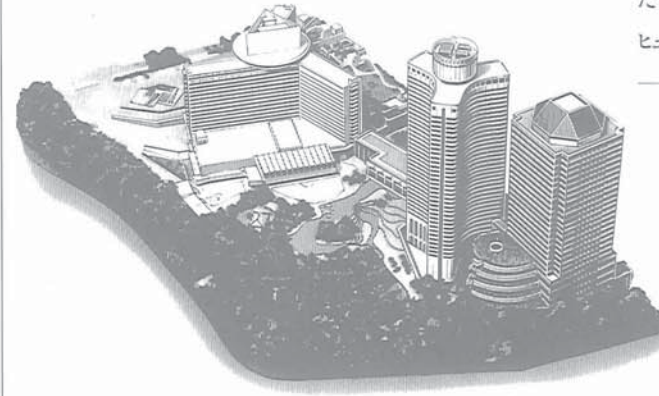
**日本セメント株式会社**

本社 〒100 東京都千代田区大手町1-6-1(大手町ビル6階) ☎(03)201-1731(代表)

代表取締役社長 木村道夫

時間と距離を越えて、エグゼクティブの選ぶ街。<sup>ホテル</sup>

国際ビジネスの舞台でご活躍の皆様のために、ビジネスサポート施設を、そして  
ヒューマンサービスを充実させております。  
—大切なお客様のために心を込めて—  
ホテルニューオータニ東京



**The New Otani**

〒102 東京都千代田区紀尾井町4-1 ☎(03)3265-1111

ご予約・お問合せは ☎0120-112211

朝日新聞社

いまだきAERAを知らない  
玉翠会員がいるとは  
思いませんが……。



「変化の時代」を読む最強の週刊誌

**AERA**  
アエラ

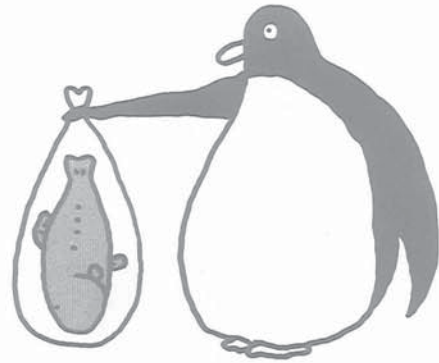
定価350円(税込) ●毎週月曜発売

私たちが作っています。  
さらにご愛読を。

アエラ発行室長 西村秀俊(高高29年卒)  
編集部員 松崎幸治(高高51年卒)



東京の皆さん、たまには故郷のさかなを  
食べに帰って来てください。



なりたいなあ。もっと良い銀行に。

**香川銀行**



**SOKKIA**

株式会社ソキア

東京都渋谷区富ヶ谷1-1-1 〒151  
TEL.03-3465-5211 FAX.03-3465-5203  
営業部 TEL.03-3465-5031 FAX.03-3465-3822

**祝** 香川県立高松高等学校 創立101周年

きめの細かい企画制作が身上です。

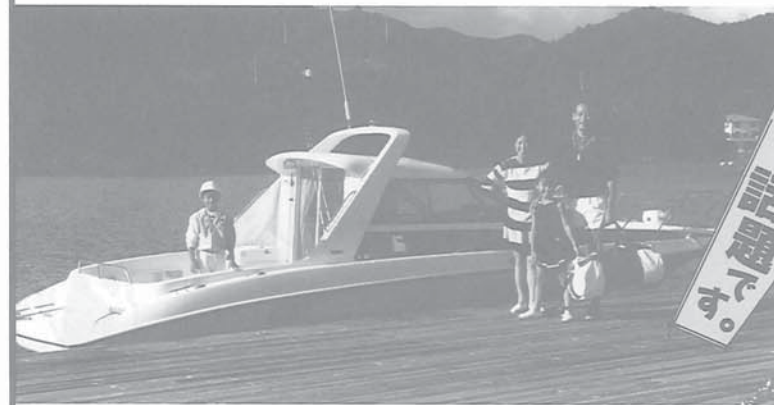


株式会社アートプランニング

〒155 東京都世田谷区北沢 3-6-16 phone 03-3468-8701 fax. 03-3468-8803

□営業品目  
広告の企画制作  
販売促進の企画制作  
CIシステムの企画制作  
PR誌の企画制作

海はスポーツ新大陸  
YAMAHA MARINE

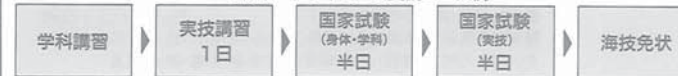


泳いで、もぐって、魚を釣る。その  
たびに、海に拍手と歓声が響  
ぎます。「たっぷり遊ぶ」  
それが家族の楽しい  
話題です。

受講生募集中 ヤマハボートライセンススクール

「ボートライセンススクール」の受講生を募集しています。海をエンジョイしながらのカリキュラムで、免許の取得までお手伝いします。また、5名以上集まれば学科講習も出張で開催できます。お気軽にご相談ください。

4級ボートライセンス受講コース例



●お問合せ●

ヤマハ東京総海洋普及部

03-5680-1122

**3iBJ**

明日の飛躍のために  
信頼のパートナーシップ

興銀インベストメント株式会社  
3iBJ Ltd.

〒107 東京都港区赤坂8丁目1番22号 赤坂王子ビル8階 / TEL 03-3497-5321 / FAX 03-3497-0471



近いがイチバン。



地域に近い、暮らしに近い、人に近い……  
近いから分かりあえる、近いからすぐに届く。  
セラー広告は、これからもずっと  
みんなにイチバン近い広告会社であり続けます。

人へ、街へ、グッドコミュニケーション  
セラー広告株式会社

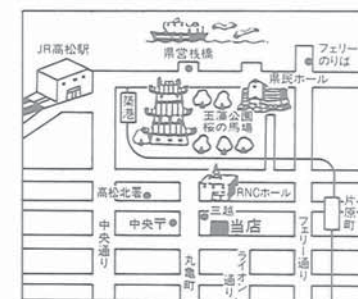
■本社/香川県高松市扇町2丁目7-20 TEL(0878)23-1155代  
■東京事務所/東京都豊島区長崎2丁目15-12-401 TEL(03)3973-9973  
ネットワーク/松山・高知・徳島・新居浜・宇和島・丸亀・岡山・広島



高松名物  
手つりの味  
瓦せんべい

とつわ堂總本店

高松市片原町香番地の貳  
本店 TEL(0878)21-3231代  
本店 高松三越よこ FAX(0878)23-3410  
支店 YOU三越よこ 喫茶 TEL(0878)21-3263  
田町店 TEL(0878)33-4632  
太田店 TEL(0878)65-4887  
工場 TEL(0878)41-2311



矯正歯科

渋谷・道玄坂

山田矯正歯科クリニック

◎矯正歯科・一般歯科 土・日・祝日休診

院長 山田 勲 (高高32年卒)

渋谷区道玄坂2-28-4 井門インターナショナル6F

☎3464-1166(代)

麹町の一等地。洒落た欧風インテリアの中で、  
玄海灘直送の生魚料理をお楽しみ下さい。

- 営業時間 11:30 AM ~ 2:00 PM  
5:30 PM ~ 11:00 PM  
日曜日・祝祭日・休業
- 昼定食 1,000円~
- 夕 4,000円コースより、他一品料理有り

〒102 東京都千代田区麹町1-8 ATIビルB  
PHONE : 03-3221-0505

山田 勲 (高高32年卒)



地下鉄半蔵門出入口No.4より徒歩1分

# 西川紀男法律事務所

弁護士 西川紀男

(高高34年卒)

事務所 〒107 港区赤坂3丁目2番6号 バゴダビルディング6階

☎ (3587) 1841 (代)

一級建築士事務所

# 株式会社 シバ設計

所長 柴原力  
一級建築士

(高高34年卒)

事務所 〒150 渋谷区道玄坂1-15-3-319

☎ 3476-4371 (代)

液化ガスタンカー用タンク  
および  
ガスハンドリングプラント

陸上  
ストレージタンク

自己昇降式洋上作業台  
フレキシ・フロート  
セップ



泉鋼業株式会社  
IZUMI STEEL WORKS, LTD.

本社・工場 〒760 高松市朝日町5丁目2番3号  
電話(0878)22-1181(代表)  
FAX(0878)22-1189

東京営業所 〒104 東京都中央区八丁堀3丁目  
25番8号伊海田ビル5階  
電話(03)3553-5521(代表)  
FAX(03)3553-5523

代表取締役社長 富家靖輔(昭和37年卒)

東京営業所所長 藤沢雅人(昭和45年卒)

木々の香漂う  
山ふところのお寺には  
語りつくせぬ物語があった

歴史に名高い駒込寺

松尾山  
東茶屋

〒247 神奈川県鎌倉市山ノ内一三六七  
TEL (0447) (二三) 一六六三

井上米輝子

(S45年卒)

測量はC.S.Sにおまかせ



◆営業内容

基準点測量、現況測量、出来形測量、現場測量  
測量コンピュータ販売、測量機器レンタル・販売

株式会社C.S.S技術開発

本社 〒206 東京都豊島区南池袋1-17-1 崎本ビル3F  
TEL 0423-73-1292代 FAX 0423-73-2330  
札幌営業所 〒064 札幌市中央区南十四条西6丁目 行啓通りビル  
TEL 011-511-2831 FAX 011-552-2141  
高松営業所 〒760 高松市勸使町1205 TEL 0878-65-3744

代表取締役 高城雄三(高高45年卒)

陳和恵(S45卒)



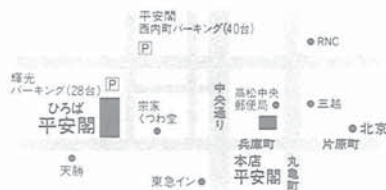
営業時間 ● AM11:00~PM10:00

本店

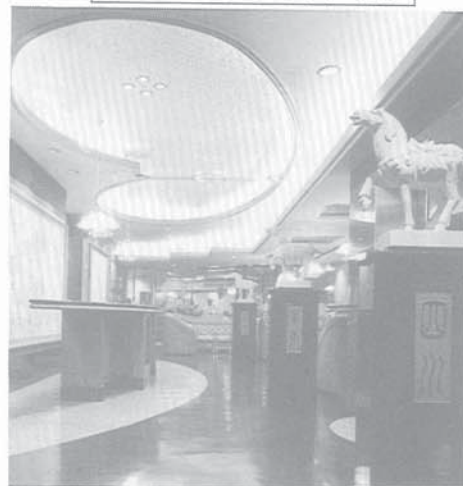
〒760 高松市兵庫町1-1(三越前)  
☎0878(22)2525

ひろば店

〒760 高松市西内町12-8(兵庫町ひろば)  
☎0878(22)2626  
FAX.0878(22)2628



ご予約専用 ☎(0878)22-2141



有限会社エイアンドワイ  
代表取締役

安倍明子

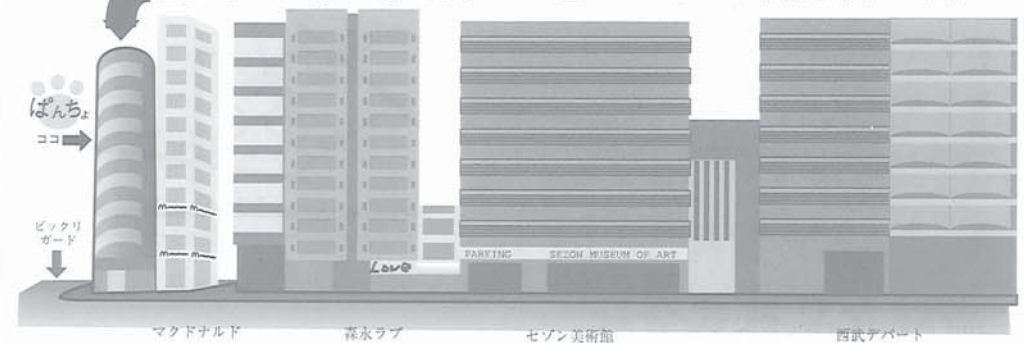
高高58年卒

〒171 東京都豊島区南池袋1-17-1 崎本ビル6階  
電話 03-3980-2180 FAX 03-3980-2182



輸入ソフト専門のショップです。通販もしています。ご利用ください。

池袋駅東口から徒歩2分：西武デパート並びビックリガード手前角 崎本ビル6階



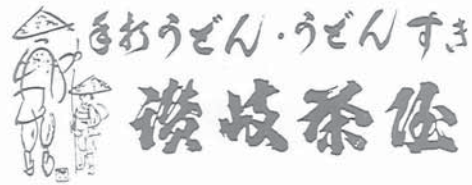
マクドナルド 森永ラブ セブン美術館 西武デパート

祝 第12回東京玉翠会総会

高高昭和45年度卒業有志一同

高橋(延原)広美  
尾形(尾形)多津  
中村(中島)春美  
神内(島田)幾代  
八十川(植松)芳子  
村井(田中)順子  
東(久保)真弓  
小山(多田)美恵子  
片岡(都築)澄恵

菅原(佐賀)奈津江  
香西(橋本)あつ子  
池田(中山)基子  
末包(加藤)弘美  
中山(池田)幾代  
福万(坂上)照美  
真砂(山田)安佐子  
穴吹(永井)恵美



入谷 幹郎 (高高26年卒)

- 永代橋店 東京都江東区佐賀1-1-4  
TEL03(3641)5681
- 日本橋店 東京都中央区八重洲1-3-8  
TEL03(3274)3503(代表)
- 京橋店 東京都中央区京橋2-11-1  
TEL03(3567)5850
- 銀座店 東京都中央区銀座4-9-5  
TEL03(3542)0861
- 田町店 東京都港区芝5-33-7  
TEL03(3454)4621
- 御殿場店 静岡県御殿場市東田中宇便船塚  
サンプラザ・ゴテンバ  
TEL0550(83)1737
- 本社 東京都江東区佐賀1-1-7  
TEL03(3642)6593

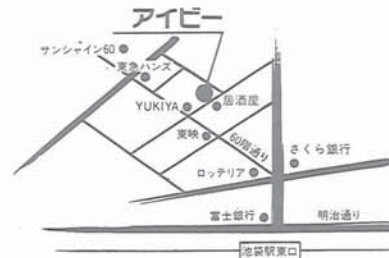
讃岐食品株式会社

スナック アイビー

渡辺 浩

(高高31年卒)

〒170 東京都豊島区東池袋1-22-5  
サンケエビルB1  
TEL.03-3983-2720



クオリティー追求による持続的成長と  
社会の発展に寄与する企業を目指す



鹿島石油株式会社

- 本社 東京都千代田区紀尾井町3番6号  
紀尾井町パークビル8・9階  
☎03(5276)9540
- 鹿島製油所 茨城県鹿島郡神栖町東和田4番地  
☎0299(97)3111

株式会社

カキ三コーヒー

安岡 章夫 (高高45年卒)

- 本社 高松市福岡町3丁目6番18号  
電話 0878-21-5070(代表)
- ロイヤルカキ三 高松市西内町12番1号  
電話 0878-51-7557
- コーヒーショップ  
ミンデン 高松市木太町4区2304番地  
電話 0878-34-8698
- 和蘭豆屋・  
カフェ ミンデン 高松市片原町10-6  
電話 0878-26-2220・2233
- 高知支店 高知市仲田町12番17号  
電話 0888-31-8288(代表)
- 松山営業所 松山市中須賀1丁目1-32  
電話 0899-51-6665(代表)

かたい頭じゃ、ちょっとできない  
やわらか思考  
そこから生まれる夢(アイテア)を  
とんとんカタチにしていく  
そんな喜びが、ここにある。



株式会社 成光社

〒760 高松市朝日町5-14-2 ☎0878-23-0222



[有]グラフィック パル  
〒760 高松市天神前9-17玉川堂ビル2F  
☎0878-62-7081

高高45年度卒 稲毛義博

喉ごし最高!!

“ざるうどん”で良し“生醤油うどん”も  
また良し、とにかく、うどんそのものが美  
味しいと評判の本場さぬきの電球巻の  
完熟うどん!!  
お中元・お歳暮・各種ご贈答に最適です。  
無添加なので、どんな方にも大好評です。



(ご注文・お問い合わせ先)

株式会社  
讃匠  
さん しよ

〒762 香川県坂出市旭町1-1-26(本社工場・直売店)  
〒763 香川県丸亀市城東町2丁目10-17(工場直売店)  
[フリーダイヤル] 0120-45-2860  
[FAX] 0877-44-0807

うどんのふる里



から、全国各地へ発送いたします。

讃州手打うどん  
名物うどんすき  
土佐皿鉢料理  
季節一品料理

八十八茶屋

〒180 むさし野・吉祥寺駅パルコ前  
TEL(0422)210125  
(0422)210125  
FAX(0422)210125  
定休日/日・祝・祭日  
岡野博通(二七年卒)

御宴会・御商談に三名〜四名様  
まで御予約(八十八席)承ります。

◆讃岐、高松にのれんを守って創業百十年◆



クール宅急便にて  
全国発送承ります。



植松がまぼこ

☎0120-15-3648  
☎(0878)21-3648  
FAX(0878)21-2778  
高松市兵庫町広場



# 岡田輝彦 公認会計士 事務所

所長 岡田輝彦  
(高中44回卒)

☎03(3263)0856 (代表)

〒102 東京都千代田区麴町1丁目3番地 (麴町1丁目3番地ビル)

さまざまなニーズをソフトでささえ、ハードで応える

## 極東産業株式会社

取締役会長 中村文俊 (高中50回卒)

- 装置・機械 (汙過機・攪拌機・熱交換器)      本社 東京都港区新橋5-10-5
- 設備機器 (タンク・パイプ・伸縮継手等)      ☎03-3433-4761
- 防蝕ライニング ■エンジニアリング・工事      大阪支店・中部支店・鹿島営業所

## 株式会社 岩本組

代表取締役 藤沢恒代

東京都北区田端1丁目23番16号 TEL(03)3823-3161(代)

## (財)社会経済生産性本部

〒150 東京都渋谷区渋谷3-1-1

☎ 03-3409-1111

# 南海プライウッド株式会社

代表取締役 丸山 修 (高中45回卒)

本社 ●高松市松福町1丁目15番10号 ☎(0878)22-0656(ダイヤルイン)

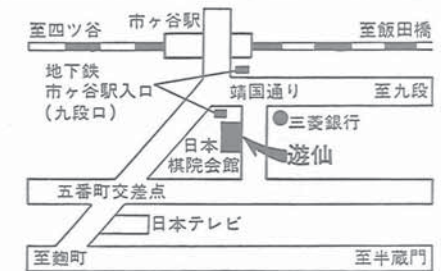
## 祝

### 第12回東京玉翠会総会開催

#### 東京晩翠部会



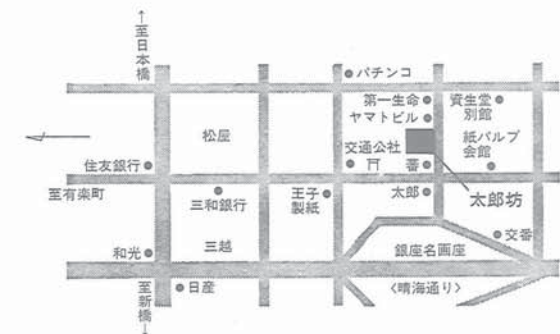
御宴会、御会合に  
オフビジネスのひとときに  
是非御利用下さい。



東京都千代田区五番町7-2  
日本棋院会館内 ☎ 03(3262)5219

## 銀座 割烹 太郎坊

中央区銀座三ノ八ノ八  
電話 (3561) 3456



# 藤井法律事務所

弁護士 藤井 富弘  
(高高26年卒)

〒105 東京都港区新橋4-31-7 中村ビル3階  
TEL 3431-2267  
3431-2304  
FAX 3431-2365

# 東高化成株式会社

取締役社長 増田 陽三  
(高高26年卒)

本社 東京都中央区京橋2-6-16(エターナルビル)  
TEL 03(3563) 6271(代表)  
FAX 03(3563) 6278 104  
大阪支店 大阪市東区淡路町2-40-4(弘栄ビル)  
TEL 06(222) 2861(代表)  
FAX 06(222) 2863 541

実感できる豊かさを求めて

思いやりは愛



健康と豊かさに貢献する

不二フデックス株式会社

東京都千代田区神田錦町3-19-1 〒101 ☎03(3293)5681  
常務取締役 工藤 政尚(昭和27年卒)

●大阪支社 ☎06(301)8005 ●仙台営業所 ☎022(262)0521  
●名古屋営業所 ☎052(221)6530 ●福岡営業所 ☎092(471)0238

自費出版等 印刷のことなら お気軽に声をかけて下さい

—— 自叙伝、社史等は原稿がなくても本になります ——

当社のスタッフが原稿作成時よりお手伝い

☎ 3433-1481

印刷の総合センター 株式会社 三州社 井関賢治(高高29年卒)  
〒105 東京都港区芝大門1-1-21

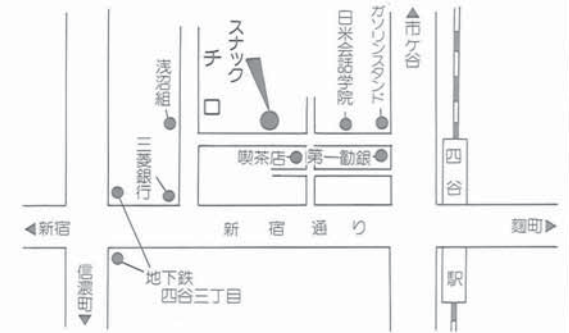
玉翠会の溜り場

スナック チロ

(創業25年)

例会日 毎第2金曜日

新宿区四谷三栄町16  
TEL 3353-9847



# 近藤和彦会計事務所

税理士

近藤 和彦

(高高30年卒)

〒110 台東区上野5-15-12 原ビル4F  
☎ 03-3835-0025

# (株)フジカナエ

代表取締役 藤本 烈(高高30年卒)

東京事務所 東京都港区赤坂9-2-11-204  
TEL 03(5410)0222

足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所

弁護士 宮武 敏夫

(高高31年卒)

〒105 港区西新橋3-24-10  
ハリファクス御成門ビル3F  
TEL 5473-3970

祝 第12回東京玉翠会総会  
 高高35年卒業生一同

岡崎・大橋・前田法律事務所

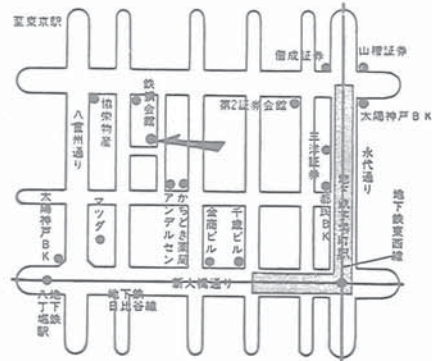
弁護士 岡崎 洋  
 (高高37年卒)

〒101 東京都千代田区神田小川町1-8-8  
 六建ビル8F  
 TEL (03) 3252-6866  
 FAX (03) 3252-6865

鳥とりなか 仲

中野 京子  
 (高高38年卒)

東京都中央区日本橋茅場町3-2-3  
 邦山堂ビル  
 TEL (3661) 8748



旅、こころ

パッケージツアーはもちろん、お客様のニーズにお応えしたオーダーメイドの旅まで、旅のことならなんでもそろっています。玉翠会及び関係者の方々にはパッケージツアーを3%引きさせていただきます。お問い合わせは右記まで。旅する人の気持ちで……新しいJTB。



For Your TravelLife

☎03<5512>0510  
 JTB海外旅行虎ノ門事業部  
 第四支店営業1課  
 東京都港区虎ノ門1-26-5虎ノ門17森ビル 〒105

上下水道設計・土木設計・測量調査

日新技術株式会社

代表取締役  
 恵比須 忠(S42年卒)

本社 〒160 東京都新宿区西新宿7-17-6第3和幸ビル  
 電話(03)3371-5991  
 FAX(03)3371-5994  
 高松支店 〒760 香川県高松市番町15-20-305  
 電話(0878)31-0150  
 FAX(0878)31-0170  
 札幌事務所・狭山営業所



●自己実現へのロマン——いま、手軽なものに。  
 自分史出版のご案内

著者の立場になってお手伝い!  
 さし絵、カット、写真提供も……  
 著者をぐーんとイメージアップ!  
 お忙しい方にはテープ取材も可

専門家や、技術スタッフ陣が  
 あなたの本づくりをゆたかに演出します。

東京支社長 池上 晴英(S45卒)

株式会社 美巧社 総合印刷・出版

東京支店 ●〒112 東京都文京区小石川2-2-14 ☎(03)3813-8231 FAX(03)3813-8234  
 本社 ●〒760 香川県高松市多賀町1-8-10 ☎(0878)33-5811 FAX(0878)34-1264  
 坂出支店 ●〒762 香川県坂出市旭町3-1-23 ☎(08774)6-1005 FAX(08774)6-1005  
 INEX事業部 ●〒760 香川県高松市常盤町2-6-17 ☎(0878)31-0881 FAX(0878)33-9839

イベントからクリエイイトまで

株式会社 プラス・エー  
 代表取締役社長 青木 英治(S42卒業)

総合企画制作会社

Head office 1-7-14 Imazato-cho Takamatsu-shi 760 Japan tel 0878-31-0901 fax 0878-37-6744

Tokyo office AQ bldg. 4-12-7 Minami-Aoyama Minato-ku Tokyo 107 Japan tel 03-5474-0921 fax 03-5474-5416



世界の旅 TOP TOUR



豊かな感動のステージへ  
 東急観光

鉄座支店

〒104 東京都中央区銀座6-14-8 (恒信ビル7F)  
 TEL 03 (3546) 1711(代)  
 FAX 03 (3546) 8885

京橋支店

〒104 東京都中央区京橋2-5-21 (京橋相互ビル1階)  
 TEL 03 (3561) 9501(代)  
 FAX 03 (3567) 5575



自然・社会・人間・・・地球に息づくものすべてが、  
ゆたかに共生できる環境を。  
ハザマは大きな明日へチャレンジします。

# Hazama

株式会社 間組 〒107 東京都港区北青山2-5-8 TEL.03(3405)1111

## 横井石油株式会社

社長 真鍋 慎吾 (高高38年卒)

〒762 香川県坂出市入船町1-1-2 電話0877-46-0451(代)

## ホモ・ルーデンス (S45)

		座長	大庭	茂樹			
植田	秀史	高橋	勇三	橋家	輝直	三直	
大川	真司	高富	三宅	史治	郎		
佐野	敏夫	三宅	路	正治	郎		
吉良	和晃	百々	路	正治	郎		
高垣	健治	渡邊	智樹				

創業明治37年

讃岐手打めん本舗  
生手打うどん・うどん・そばめん・冷やし(全国発送承ります)  
**石丸製麺株式会社**

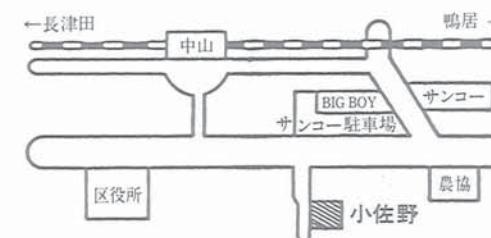
代表取締役 石丸 芳孝 (高高26年卒)

本社・工場 / 香川県香南町岡701 ☎(0878)79-6111(代) FAX(0878)79-8454  
営業所 / 東京・大阪・名古屋・九州

## 小佐野歯科医院

小佐野 千重子 (45年卒)  
(旧姓 林)

〒226 横浜市緑区中山町68-1  
TEL (045) 934-3003



## INDEX GROUP

INDEX  
HAI高松  
ロートレ・アモン  
ページボーイ

阿部 光伸 (S45年卒)  
高松市番町3丁目14-9  
TEL 0878-61-4872

## 株式会社 うどんの庄かな泉

代表取締役副社長 中西 正治 (昭和40年卒業)

総合管理本部 〒761 高松市勅使町田中212-1 電話(0878)68-0123(代) FAX(0878)66-6166

**M-M&TC** Marunishi Management and Tax Consultants

株式会社 丸西経営会計  
丸西税理士事務所  
東京都葛飾区金町6丁目12番13号  
セザール金町304号  
郵便番号125

TEL.03-5699-3111  
FAX.03-5699-3112

丸西 和幸 (S43卒)

ネーミング 四柱推命

# 名の光の家

東京店 ☎0473-53-5889  
浦安市日の出6-G-803

アドバイザー 辻 友美子(高高37年卒)  
(旧名 山地従美子)



株式会社エムビーエム  
**MBM**

香川県高松市高松町2171-3 〒761-01  
TEL0878(41)2241代 FAX0878(43)5638  
(旧 三木建材店)

代表取締役 三木 美国(昭和44年卒)  
三木 祐子(昭和45年卒)  
(旧姓 角田)

## 中広デンタルクリニック

☎ 03(3591)5822

中広 哲也  
(高高46年卒)



★軟包装資材製造販売★

## 三和工業(株)

代表取締役 村上 幸生(高高46年卒)

本社 普通寺市仙遊町2-5-18  
☎0877(62)2500

さぬきうどん  
風味ひときわ本場の味

全国発送承ります。



ご注文専用無料電話フリーダイヤル0120-483344

ご進物 お歳暮 お中元

製造発売元 **讃岐屋食品(株)**

香川県高松市十川西町786-12  
電話0878-48-3344代

通産大臣指定・伝統工芸品製造販売



文新堂漆器工業株式会社

(本社工場) 香川県高松市藤塚町3丁目9番20号  
電話(0878)33-3939(代表)  
(直売店) 香川県高松市内町1番8号  
電話(0878)22-1230(代表)

四国の玄関 高松  
屋島をのぞむ シーサイドコース

18ホールズ  
パー72



**高松パブリックゴルフコース**

高松市木太町4583 TEL 0878-34-1524(代)

木太興産株式会社

高松市木太町4583 TEL 0878-61-4509(代)

代表取締役 石橋 治

(高高29年卒)

ソフトウェアの新世代を創造する  
—リサーチ&ディベロップメント専門企業—

## ソフトウェアジェネレーション(株)

代表取締役 本村 昭二(高高32年卒)

〒102 千代田区飯田橋1-7-10 山京別館 7F  
TEL 03-3234-5638

《技術者募集中!!》

四国讃岐名物 手打うどん



株式会社 さぬき屋

三嶋 満代

(旧姓 篠塚) (高高38年卒)

本店 横浜市緑区鶴居駅前オレンジビル1F  
TEL 045-934-1813  
JR 横浜線鶴居駅南口下車0分

・営業時間

11:00~22:00

・定休日

木曜日

・支店

千丸台店 ☎045-381-3277  
成瀬店 ☎0427-27-0184

KOZAI

建築設計・施工 株式会社

香西工務店

代表取締役 香西 幸夫(昭和41年卒)

高松市室町1919の1 TEL (0878) 67-1875 (代表)  
FAX (0878) 67-1882

明日の郷土をつくる

不動産の活用  
遊休地の利用



ローランド ディー.ジー.株式会社  
本社/〒432 浜松市大久保町1227

エスプリ

大原 京子

東京都中央区銀座7-3-9  
丸源14ビル7階 《〒104》  
電話(5568)0370

スナック  
**パロ**

水野 恵子

〒760 高松市 中古馬場町9-17  
ミディセラビビル1F  
TEL (0878) 51-8863

**パルポス**ーズ

三浦 加奈

〒760 高松市 片原町2番15  
PHONE (0878) 21-0550

**エスプランス**

ママ服部 百合子

東京都中央区銀座7-6-6  
〒104 丸源第24ビルB2  
TEL 3574-9644~5

家具の**神原**

榊原 賢治 (昭和45年卒)

高松市 鍛冶屋町1番地2 TEL (0878) 89-2121 (仏生山店)



総合建築・商業建築・土木工事 設計施工

株式会社 **イーグルハウス興業**

松岡 孝禎 (45年卒)

〒760 香川県高松市松福町2丁目17-1 TEL (0878) 51-6006

**奈良電機重工株式会社**

代表取締役 奈良 明 (昭和45年卒)

本社 高松市紙町579番地 TEL (0878) 67-7017(代)

近視

24年の信頼と実績が誇る  
仮性近視、弱視、遠視でお困りの方は室内望遠訓練法で視力回復を



**高松視力回復センター**

高松市亀井町12-21  
(三越エレガンス西60%キング写真館2F) ☎34-1985

相続財産・固定資産・工場財団等の鑑定評価

**香西不動産鑑定所**

香西 勲 (S33卒)

〒175 東京都板橋区成増1-26-5富建ビル601  
TEL 03-3976-2107 FAX 03-3975-4397

同時通訳・翻訳 J-Communication, Inc.

(株) **ジェイ・コミュニケーション**

多田 千雪 (S42卒)

〒105 東京都港区芝大門2-12-5-904  
TEL 03-3435-7720 FAX 03-3435-7675

**河野法律事務所**

弁護士 河野 玄逸  
(悦子) (高高43年卒)

〒107 東京都港区赤坂1丁目3番5号赤坂アビタシオンビル8階  
TEL 03-3582-0621 FAX 03-3582-4879

**和泉司法書士事務所**

司法書士 和泉 正俊 (高高41年卒)

〒231 横浜市中区花咲町1-46-1  
GSプラザ桜木町1104  
TEL 045-242-9499

**三田総合事務所**

司法書士 松井 名保美 (S49)

東京都港区芝5-30-1-407  
TEL 03-5484-0272  
FAX 03-5484-0273

**松尾和代事務所**

司法書士 松尾 和代 (高高42年卒)  
行政書士

〒254 神奈川県平塚市明石町13番25号吉田ビル5F  
TEL 0463-22-3355  
TEL 0463-22-3376  
FAX 0463-21-0808

ふるさと  
讃岐の味  
手打うどん  
うどんすき  
季節の料理


**金比羅**

(七宝産業株式会社)  
浜松町店 東京都港区浜松町3-1  
TEL 03-432-1047  
西船橋店 西武百貨店船橋店内




祝 45年度卒業生有志

K・T  
Y・T(S)  
T・O(K)  
Y・H(I)  
M・Y(S)

<p><b>珪素産業株式会社</b></p> <p>取締役社長 宗本 徳禪 (高中37回卒)</p> <p>東京都杉並区成田西1-17-8 ☎ 03 (3313) 6505</p>	<p>財団法人 全電通労働会館</p> <p>専務理事 久保 醇治 (高高27年卒)</p> <p>〒101 東京都千代田区神田駿河台3-6 電話 (03)3219-2211 FAX (03)3219-2219 全電通本部 (03)3219-2111(代) 内線 2281</p>
<p><b>大西 昭一郎法律事務所</b></p> <p>弁護士 大西 昭一郎 (高高33年卒)</p> <p>千代田区丸の内3-1-1 国際ビル727区 ☎ 03-3212-0841 (代表)</p>	<p><b>adc</b> 株式会社エイデザインセンター 〒116 東京都荒川区町屋1-4-9 TEL:03-3809-0591 FAX:03-3895-5367</p> <p>代表取締役 井上 榮 (高高33年卒)</p> <p><b>INOUE</b> 井上美術印刷株式会社 〒116 東京都荒川区町屋1-4-9 TEL:03-3819-0821(代)</p>
<p><b>税理士 山口 修 事務所</b></p> <p>税理士 山口 修 (高高33年卒)</p> <p>事務所 東京都北区赤羽1-37-13 城北ハイツ205 ☎ 03 (3903) 4111</p>	<p><b>小倉・田中法律事務所</b></p> <p>弁護士 小倉 良弘 (高高39年卒)</p> <p>〒160 新宿区四谷2-2 四谷フジビル3階 TEL 03-3355-2268 FAX 03-3355-2308</p>
<p><b>前田勇税務会計事務所</b></p> <p>税理士 前田 勇 (高高38年卒)</p> <p>事務所 〒102 東京都千代田区九段北4丁目1番5号 市ヶ谷法曹ビル807号 電話 03(3265)9471番(代)</p> <p>自宅 〒191 東京都日野市平山2丁目14番地6 電話 0425(92)7760番</p>	<p>からすみ 珍味 かまぼこ 天ぷら</p> <p><b>吉内</b> 海味匠 KK'HINAI</p> <p>鯛の浜焼 鱈の味噌漬 まな鱈の味噌漬 天然車えび</p> <p>株式会社吉内</p> <p>■常盤町店 〒760 高松市常盤町1-5-9 (ダイエー西口前) TEL.0878-62-0001 FAX.0878-37-6262</p> <p>■新北町店 〒760 高松市新北町14-33 (マルヨシセンター西町店北200m) TEL.0878-62-0011 FAX.0878-37-6006</p>

<p><b>赤澤・榎本法律事務所</b></p> <p>弁護士 赤澤 俊一 (高中46回卒)</p> <p>〒100 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング5階543区 電話 03 (3211) 4839</p>	<p>内科・小児科</p> <p><b>しのはら医院</b></p> <p>院長 篠原桂三郎 (旧姓 乙竹) (高中46回卒)</p> <p>〒264 千葉県若葉区若松町488-2 TEL 診療室 (043)422-5519 自宅 (043)256-1700</p>
<p>古都 鎌倉で15年 小町通り 本の <b>目耕堂</b></p> <p>古都散策の折には、ぜひとも お立ち下さい。 TEL 0467-23-0331</p> <p>末澤 惇・和子 (高高27年卒)</p>	<p><b>国華産業株</b> (海運業)</p> <p>取締役社長 植松 武彦 (昭31年卒)</p>
<p><b>濱田法律事務所</b></p> <p>濱田 清 (高高32年卒)</p> <p>〒102 千代田区平河町1の8の2 山京半蔵門パレスビル604 TEL 03-3221-6261</p>	<p><b>宮武医院</b></p> <p>宮武 治郎 (高高32年卒)</p> <p>〒192 八王子市片倉町1221-26 ☎ 0426-36-8317</p>
<p>活魚料理とうまい酒 30名様迄の御宴会OK</p> <p>大衆割烹 <b>ちよだ</b></p> <p>塩田 俊治 (高高32年卒) 多摩市永山駅前 ☎0423-75-9653</p>	<p><b>森岡クリニック</b></p> <p>外科・胃腸科・内科・肛門科 皮膚科・整形外科・理学診療科</p> <p>森岡 暁 (高高39年卒) 松戸市上本郷4384 TEL 0473-61-3161</p>
<p>内科・胃腸科・循環器科</p> <p><b>蓮井内科医院</b></p> <p>院長 蓮井 直行</p> <p>高松市太田上町塩江街道沿 (三名バス停前) ☎ (0878) 88-1331</p>	<p> 立野省一法律事務所</p> <p>弁護士 立野 省一 (高高41年卒)</p> <p>高松市番町1-10-1 日下ビル3F TEL (0878)61-1324 FAX (0878)61-8018</p>
<p>弁護士 <b>川崎 達夫</b> (高高43年卒)</p> <p>高松市亀岡町3番3号 事務所 ☎(0878)31-3333 FAX(0878)31-8726 自宅 ☎(0870)31-3131</p>	<p><b>(有)香川環境文化研究所</b></p> <p>水谷 正裕 (昭44年卒)</p> <p>本社：〒769-01香川県綾歌郡国分寺町新居552-1 TEL 0878-74-7862</p>

 <p>ゲストハウス シャワール</p> <p>高松市中古馬場8-55Yビル1F ☎(0878)51-0850</p>	<p>瀬戸内海の魚料理</p> <p>香川 <b>やま喜</b></p> <p>港区赤坂田町通り3-12-3 TEL 03-3583-9836</p>
<p>家庭電気からOA・電子部品・電気工事まで 電気のトータルコーディネーター</p> <p><b>NODAYA野田屋電機</b></p> <p>古川 健造 (S45卒) 古川 (〃)</p> <p>本店/〒760 香川県高松市丸龜町1-3 TEL (0878) 51-4545 (代表) / FAX (0878) 22-6905</p>	<p><b>田 淵 医 院</b></p> <p>院長 田 淵 保 己 (高高42年卒)</p> <p>高松市扇町1丁目25 TEL (0878) 21-3091</p>
<p><b>海部 医院</b></p> <p>院長 海部 泰夫 (高高昭和42年卒)</p> <p>高松市高松町2356 電話 (0878) 43-3666</p>	<p><b>平井タクシー株式会社</b></p> <p>代表取締役 平井 大資 (昭和42年卒)</p>
<p>生そば「丸ふく」</p> <p>森田 隆博 (45年卒)</p> <p>高松市片原町・常磐街</p>	<p><b>白十字製菓株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 池本 雅光 (S45卒)</p> <p>香川県木田郡三木町大字氷上4890番地</p>
<p><b>川西石油(株)</b></p> <p>代表取締役 川西 庸介 (S45卒)</p> <p>高松市塩上町11-8 TEL (0878) 33-5511</p>	<p>レーザー加工による板金加工</p> <p><b>(株)大新製作所</b></p> <p>新池 利正 (S45卒)</p> <p>〒761 高松市神在川窪町127の1 Tel 0878 (82) 6111 Fax 0878 (82) 7439</p>
<p><b>ツゲ 医院</b></p> <p>柘植 司郎 (高高47年卒)</p> <p>香川県高松市川部町1443-1 ☎ 0878 (85) 1432</p>	<p><b>中商事株式会社</b></p> <p>高松市塩屋町2の7 TEL0878-21-1211</p> <p>代表取締役社長 中 博史(昭和45年卒業)</p>

<p><b>西谷陶業株式会社</b></p> <p>■東京事務所 〒102 東京都千代田区紀尾井町3-27 (剛堂会館ビル1階) TEL (03) 3261-2456</p> <p>■本社・工場 〒761 香川県高松市鶴町2029-8 TEL (0878) 82-1511代</p> <p>■札幌事務所 ■大阪事務所 ■九州事務所</p>	<p>財団法人日本民謡協会 津軽三味線 工藤 流</p> <p>民謡教授 庄司 椿 扇</p> <p>工藤流師範 工藤 菊 富美</p> <p>〒131 東京都墨田区立花5-47-8 TEL 03 (3617) 4797</p>
<p><b>RAKUDAYA</b></p> <p>田中 寿太郎 (S39卒)</p> <p>高松市丸龜町12-8 ☎(0878)21-0696</p> <p><b>RAKUDAYA &amp; SONS CO., INC.</b> HEAD OFFICE ●〒760 高松市南新町5-5 ☎(0878)33-8106 FAX (0878)35-5732</p>	<p><b>祝 第12回東京玉翠会総会</b></p> <p>前田 潤治 (S57年卒)</p> <p>前田 八州彦 (S58年卒)</p>
<p>★建築一般★</p> <p><b>(株)設計・計画 高谷時彦事務所</b></p> <p>高谷 時彦 (高高46年卒)</p> <p>文京区千駄木1-22-30 ヒルハウス401 TEL (3823) 3316 FAX (3823) 3234</p>	<p><b>井上昭雄法律事務所</b></p> <p>弁護士 井上 昭雄 (高高46年卒)</p> <p>高松市内町1番2号 佐々木ビル ☎ (0878) 23-2030</p>
<p>★鋼製建具 ★ユニット フロアー ★黒板</p> <p> <b>株式会社 精五舎</b></p> <p>岡 子 泰 (高高46年卒)</p> <p>本社 高松市天神前5番22号 ☎(0878)31-9111</p>	<p>特利望</p> <p> <b>ば ば ば ば</b></p> <p>古市としこ (21年卒) 古市哲也 (48年卒)</p> <p>〒760 四国・高松市花園町1-2-15 TEL (0878) 62-2131代 FAX (0878) 31-7689</p>
<p>CREATIVE &amp; PRODUCE</p> <p><b>CHANCE</b> corporation</p> <p>代表取締役 <b>高嶋 弘</b> (昭和48年卒)</p> <p>株式会社 チャンス 〒162 新宿区岩戸町10松本ビル201号 TEL/FAX.03-3266-1384</p>	<p>バッチ・カップ・トロフィー・旗</p> <p>有限<b>伊藤久芳堂商会</b></p> <p>高松市御坊町10-18 TEL (0878) 51-3666代</p> <p>高高48年卒 伊藤 壽 高高57年卒 伊藤裕美(旧姓 中山)</p>
<p>小豆島名産</p> <p><b>生搾醤油</b>  (蔵造り)</p> <p> <b>タクサン株式会社</b> 香川県小豆郡内海町安田甲103の1 〒761-44 TEL 0879-82-5555代 東京・名古屋・京都・大阪・神戸・福岡・小豆島</p> <p>●全国へ配送致します。</p>	<p><b>雨宮歯科医院</b></p> <p>院長 雨宮 高志 (高高42年卒)</p> <p>〒191 東京都日野市日野本町2-20-13 TEL 0425-84-3741</p>

# XEROX

私たちは、ドキュメント・カンパニーです。



お父さん、  
「川上は赤、大下は青」  
でしたよね。

川上哲治、大下弘。戦後まもないプロ野球を熱狂させた二人の男は、そのバットの色から「川上の赤バット、大下の青バット」と並び称された。しかし、実は、二人が色のついたバットを使ったのは昭和22年のただ一年。しかも大下が17ホームを打ったのに比べ、川上は6ホームにすぎない。にもかかわらず、そのバットの色でこの二人の大選手が記憶に残っているのはなぜか。それは、彼らのカラフルなバットから大空に放たれたホームランが、戦争という暗い影をふきとばす自由へのアーチだと人々には写ったからにちがいない。時として、時代の記憶は、色の記憶となって人々の心に残る。

カラー、モノクロ両方の微妙な色再現を可能にした富士ゼロックスのフルカラー複写機「Aカラー」。私たちは、気持ち伝わるカラードキュメントの時代をつくりまします。



New  
With  
Way

## Acolor

デジタルフルカラー複写機

- 微妙な色のニュアンスまでも再現するフルカラー高画質。
- 白黒複写機としても毎分36枚(A4ヨコ)連続コピーの高性能。
- マーカーペンを使って、簡単にカラークリエーション。
- カラー/白黒両用、幅62cm×奥行79cmの省スペース設計。
- OHPフィルムにも鮮やかに、手軽にフルカラーコピー。

\*1 Acolor 636のみ。\*2 フィーディングテーブルを除く。

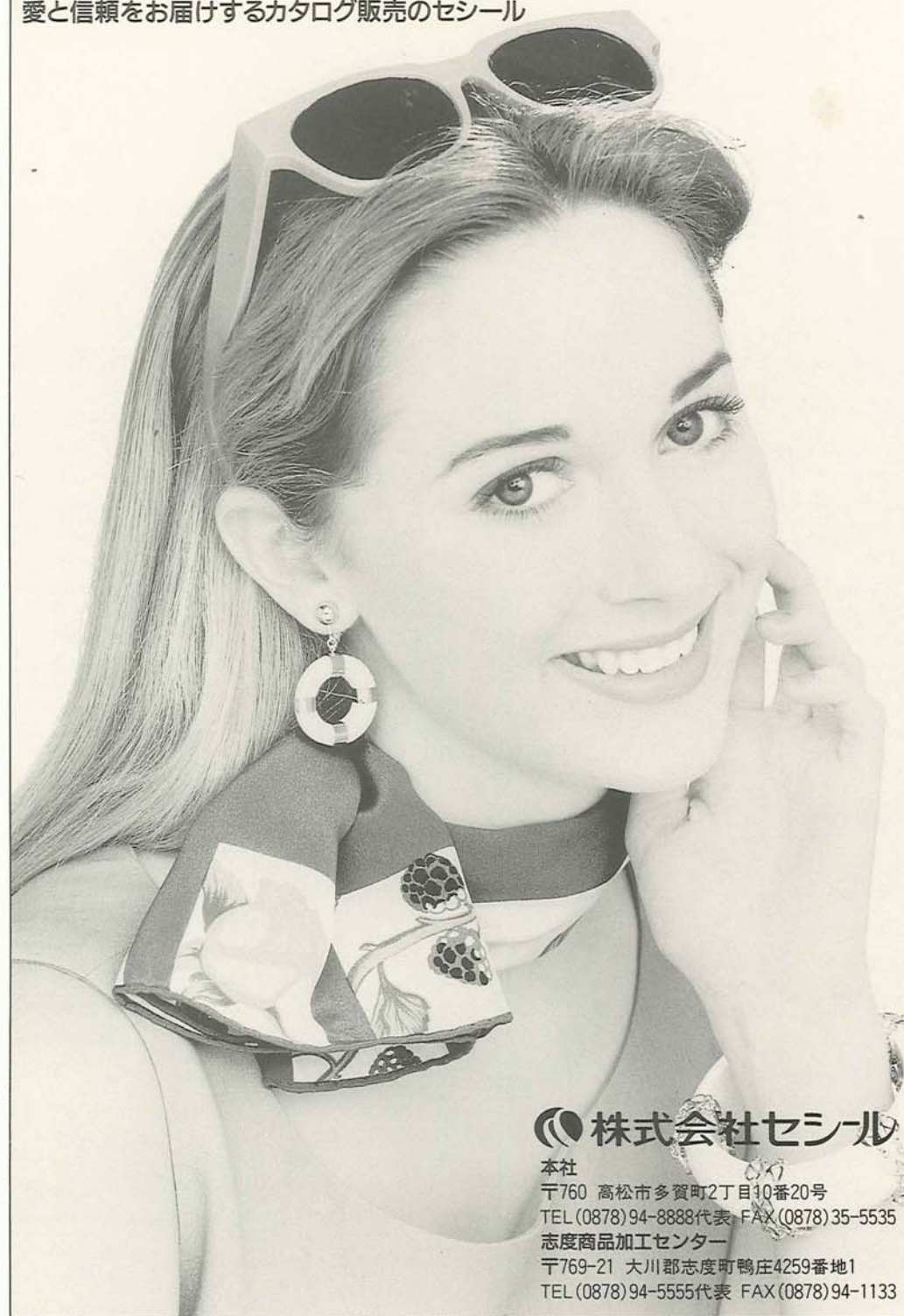
Acolor 636 / 定価 2,680,000円(税別)

Acolor 631 / 定価 2,280,000円(税別)

※本機は、富士ゼロックスの登録商標です。その他の登録商標の名称は省略されています。

富士ゼロックス株式会社 〒107 東京都港区赤坂3-3-5 電話03(3585)3211 XEROXは登録商標です。

愛と信頼をお届けするカタログ販売のセシール



### 株式会社セシール

本社

〒760 高松市多賀町2丁目10番20号

TEL (0878) 94-8888 代表 FAX (0878) 35-5535

志度商品加工センター

〒769-21 大川郡志度町鴨庄4259番地1

TEL (0878) 94-5555 代表 FAX (0878) 94-1133

まず、抜け毛が減る。

実感メイグイファ

④メイグイファ、使い続けていらっしやいますか。

「フケが減り、カユミがおさまった。そう実感した頃から抜け毛も減ってきたよ。まず、感じとついでにただけるメイグイファの効果です。それは、頭皮が健康な状態になり、毛母細胞の働きが活発になってきた成果のあらわれです。髪にさわってみてください。

⑤使い始めた頃に比べて、髪にコシがでてきていると感じられるはず。髪は充分に成長を続けて太くなり、さらに新毛は健やかに育ち始めているのです。このようにヘアサイクルが正常にくり返されてくると、髪は抜けてもまた生えてきます。メイグイファは、できれば朝晩2回、たやさずお続けください。



発毛促進剤

無香料

効能 発毛促進、毛生促進、育毛、養毛。  
効果 薄毛・ふけ・かゆみ・抜け毛の予防。

薬用不老林  
**メイグイファ**

マイカイト花エキス(頭皮柔軟成分)の効果

(医薬部外品) 200ml 6,000円・50ml 1,600円

表示価格は税抜希望小売価格です。